

Kishidaia 1号～100号総目次

号	ページ	年次	著者	タイトル
1	1	1969	萱嶋泉	キシダイアの発刊にあたって
1	1-3	1969	岸田久吉	クモの呼称
1	3-4	1969		談話会ノートより
1	4-6	1969		岸田久吉氏蔵書目録
1	7	1969	大河内哲二	文献紹介
2	1-2	1969	岸田久吉	クモの呼称 (続)
2	2-3	1969		談話会ノートより
2	3	1969	松本誠治	レギュラー・メンバー紹介
2	4-6	1969		岸田久吉氏蔵書目録
2	6	1969	松本誠治	百科事典のクモ
3	1-4	1969		岸田久吉氏蔵書目録 (真正蜘蛛類)
3	5	1969		談話会ノートより
3	6	1969	新海栄一	クモの名称ー昔の名前今の名前ー
4	1-4	1969	岸田久吉	クモの呼称 (続)
5	1-3	1969	八木沼健夫	同名を持つ日本のクモとヨーロッパのクモ
5	3-5	1969	東京クモ談話会	高尾山のクモ
6	1-4	1969	新海栄一	川崎市王禅寺付近のクモ (I)
6	5-6	1969	松本誠治	網の撮影
7	1-2	1969	大河内哲二	文献紹介
7	2	1969	松本誠治	クモの記事 (1)
7	3-7	1969	新海栄一	クモの名称 (II)ー昔の名前今の名前ー
7	7-9	1969	松本誠治	文献紹介
8	1-5	1969	岸田久吉	キブネグモの記
8	5-6	1969	国見裕久	山梨県西湖付近のクモ
9	1	1969	大河内哲二	イソウロウグモ
9	2	1969	大河内哲二	クモの寄生虫発見記
9	3-6	1969	大河内哲二	各地のクモの同定記録
9	6	1969	大河内哲二・新海栄一	ハンゲツオスナキグモの幼生の班紋について
10	1-2	1969	岸田久吉	シナノタテグモ (岸田久吉新称) (カネコトタテグモ)
10	2-5	1969	岸田久吉	日本帝国産原始蜘蛛類に就いて
10	5	1969	萱嶋泉	岸田久吉先生の遺稿について
11	1-2	1969	大河内哲二	奄美大島のクモ
11	3-4	1969	小野展嗣	クモの共存
12	1-4	1969	小林久俊	天竜市山東付近のクモ
12	5	1969	松本誠治	文献紹介

12	6-7	1969	大河内哲二	クモの記事 (2)
13	1	1970	萱嶋泉	キシダイア一年間の歩み
13	1-5	1970	新海栄一・大河内哲二・松本誠治	ニュージーランドのクモ 3 種
13	5-6	1970	松本誠治	クモの記事 (3)
14	1-2	1970	新海明	神奈川県小倉山付近のクモ
14	3-4	1970	松本誠治	標本保管法私案
14	4-5	1970	松本誠治	談話会ノートより
15	1-6	1970	新海栄一	クモの名称(III)
15	6-8	1970	新海栄一	クモの同定ポイント
16/17	1-3	1970	松本誠治	Spiders around Ashinoko Lake and of Nijjima, Manazuru Peninsula, Kanagawa Prefecture
16/17	3-5	1970	国見裕久	神奈川県多摩プラーザのクモ
16/17	6-7	1970	松本誠治	文献紹介
16/17	8	1970	大河内哲二	クモの天敵に関する文献 (1)
16/17	8-10	1970	大河内哲二	奄美大島産蜘蛛類の研究史
18	1-2	1970	萱嶋泉	東京都(離島を除く)におけるアシダカグモについて
18	2	1970	大河内哲二	クモの天敵に関する文献 (2)
18	3-5	1970	新海栄一	東京蜘蛛談話会最近の収穫より
19	1	1970	松本誠治	第一回例会に参加して
19	1-2	1970	小沢実樹	第一回蜘蛛例会に思う
19	3-5	1970	松本誠治・新海栄一・小野展嗣・大河内哲二	大阪「犬鳴山」「岩湧山」採集目録
19	6-7	1970	大橋幸男・新海明	オナガグモの生態観察 2-餌のとり方について-
20/21	1-3	1970	萱嶋泉	農林害虫の天敵としてクサグモ類の価値
20/21	3-5	1970	石山鉄幸	千葉県産のクモ (1)
20/21	6-7	1970	国見裕久	文献紹介
22	1-2	1971		東京蜘蛛談話会例会報告
22	2-3	1971	松本誠治	反省など(東京蜘蛛談話会例会を終えて)
22	3	1971	久保田寿一	クモ談話会例会におもう
22	4	1971	高野伸二	19年ぶりのクモ
22	5	1971	国見裕久	文献紹介
22	7	1971	松本誠治	クモの記事 (4)
23/24	1-10	1971	新海栄一	クモの名称 (IV) -昔の名前・今の名前-
25	1-3	1971	八木沼健夫	日本の疑問蛛
25	3-5	1971	松本誠治 (編)	アクタ・アラクノロギカに掲載されたハエトリグモ科のクモの記事
26-28	1-2	1971	萱嶋泉	東京蜘蛛談話会の5周年を迎えて
26-28	2-5	1971	小林久俊	静岡県産の洞穴性蜘蛛について
26-28	6	1971	石山鉄幸	ハナグモの人工飼育
26-28	7-10	1971	丸毛音子	コガネグモとオニグモの教え
26-28	10-11	1971	小野展嗣	クモの記事 (5)

26-28	11-13	1971	高野伸二	小観察あれこれ
26-28	13-15	1971	吉田哉	山形市のクモ
26-28	15-16	1971	小沢実樹	表紙に寄せて
29-32	1-3	1972	小野展嗣	静岡県沼津市のクモ
29-32	4	1972	山川守	丹沢山塊の蜘蛛
29-32	5-8	1972	松本誠治	山道にて(ドクグモとコモリグモ)
29-32	8	1972	松本誠治	採集ノート(Ⅰ)
29-32	9-13	1972	権田重雄	真正蜘蛛各地の同定記録
29-32	13-14	1972	国見裕久	クモの記事(6)
29-32	14	1972	小野展嗣	迷蛛
29-32	15-17	1972	東京蜘蛛談話会	滝山城址公園のクモ
29-32	18-25	1972	東京蜘蛛談話会	清澄山の真正蜘蛛類
29-32	26-33	1972	東京蜘蛛談話会	奥秩父のクモ
29-32	34-35	1972		クモの同定ポイント(2)
29-32	37	1972	石山鉄幸	滝山・蜘蛛観察会に思った事
29-32	37-38	1972	国見裕久	東京蜘蛛談話会第2回観察会
29-32	38	1972	権田重雄	第2回奥秩父観察会
29-32	39	1972	東京蜘蛛談話会	東京蜘蛛談話会1971年の活動を省りみて
33	1-4	1972	福本伸男	スズミグモの産卵
33	5-6	1972	松本誠治	雑感—生物学の2範疇—
33	6	1972	松本誠治	採集ノート
34	1-2	1972	熊田憲一	クモを食べるクモの観察
34	2-3	1972	大利昌久	トゲゴミグモの不思議
34	4	1972	萱嶋泉	韓国の蜘蛛学の現状
34	5	1972	石山鉄幸	採集ノート
35	1-4	1973	小林久俊・石山鉄幸・ 権田重雄	霧積温泉付近のクモ
35	5-6	1973	高野伸二	小観察あれこれ(2)
35	7	1973	石山鉄幸	巣箱にいたクモ
36	1-5	1973	山川守	横浜のクモ—保土ヶ谷—
36	5-6	1973	新海明	クモ小観察(1)夏の景信山にて
36	6-7	1973	松本誠治	採集ノート(Ⅱ)
36	7	1973	山川守	クモに教えられる
37	1-4	1973	大利昌久	蜘蛛をたずねて(1)
37	4-5	1973	高野伸二	小観察あれこれ(3)
37	6	1973	小野展嗣	会報・編集後記
38	1-3	1974		1973年クモ学界10大ニュース(国内)
38	3	1974	虎	紹介水野寿彦著「日常の生態学」
38	4-5	1974	西郷啓造	蜘蛛(Spinne)
38	6-7	1974	山川守	ベートトラップのクモ
38	8	1974	松本誠治	不老入洞記
38	8-9	1974	新海明	クモ小観察(2)夏の景信山にて
38	9	1974	熊田憲一	コムラウラシマグモの越冬巣
38	10-11	1974	山川守	一週間だけ異常な網を張ったクモ

38	12	1974	萱嶋泉	オニグモの飼育について（日記をまとめつつの報告（1））
38	13	1974	小野展嗣	会報・東京蜘蛛談話会のしおり・編集後記
39	1-6	1975	八木沼健夫	日本のクモ学の現況と展望
39	9-14	1975	菅波洋平・関由美子・沼田貞子・堀越早苗	石尊山の真正蜘蛛類
39	15-21	1975	大野正男	埼玉県のクモ類研究史（1）
39	22-26	1975	嶋田順一	埼玉県における採集記録（I）
39	27-31	1975	松本誠治	ハエトリグモの分類—その歴史・体系に関する2, 3の知見—
39	32-33	1975	大利昌久	八重山群島のクモ類
39	33-35	1975	大利昌久	真正クモ類の生態資料（南西諸島編）
39	36-37	1975	高橋登	キシノウエトタテグモに寄生する冬虫夏草について
39	38-39	1975	高野伸二	小観察あれこれ（4）
39	40	1975	松本誠治	カクレ帯をつけたヤマオニグモの幼生
39	40	1975	松本誠治	家屋の壁をあるきまわるオオハエトリ
39	40-41	1975	小野展嗣	八王子城址クモ観察会のドウシグモ
39	41	1975	小野展嗣	アリをきらうクモと好むクモ
39	41	1975	小野展嗣	オオヒメグモのえじきとなったクモ
39	42-48	1975	小林久俊・石山鉄幸・権田重雄	箱根畑宿付近の真正クモ類
39	49-54	1975	小野展嗣	クモの生活史研究の問題点及び齢期記録の一方法
40	1-2	1976	吉倉真	「研究」ということ
40	3-6	1976	栗原輝代子	丹沢山塊ヒジリ峰のクモ
40	6-10	1976	小野展嗣	富士山の蜘蛛 Check List
40	11-14	1976	新海栄一	滝山城址のクモ
40	18-20	1976	高野伸二	小観察あれこれ（5）
40	20-22	1976	松浦祐司	キジロオヒキグモ <i>Arachnura logio</i> YAGINUMA の自宅観察メモ
40	22-25	1976	佐久間良三	観察日誌
40	26-28	1976	鈴木勝浩	クサグモの生活史
40	29-32	1976	熊田憲一・山川守	あっちこちのくも
40	33-40	1976	松本誠治	ハエトリグモの分類（II）—日本産ハエトリグモ7種について—
40	40-41	1976	佐久間良三	蜘蛛の脱皮について
40	41	1976	松本誠治	アリを好むクモ
40	41	1976	松本誠治	カクレ帯をつけたヤマオニグモの幼生
41	1-2	1977	佐藤幸子	ビジョオニグモの死
41	2	1977	熊田憲一	ハイイロヒメグモの集団越冬
41	3-4	1977	高野伸二	小観察あれこれ（6）
41	5-8	1977	田中理恵	野帳
41	9-10	1977	鈴木勝浩	オオハエトリの飼育経過
41	11-12	1977	須賀瑛文	自然観察読本とクモの説明

41	12-14	1977	須賀瑛文	クモが人間を水の中に引きずりこむ話
41	15-20	1977	松本誠治	ハエトリグモの分類 (Ⅲ) - 日本産稀少ハエトリグモについての資料 -
41	21-24	1977	嶋田順一	埼玉県における採集記録 (Ⅱ)
41	25-26	1977	熊田憲一	岩手県好摩のクモーあっちこっちのクモの一環として -
41	27	1977	鈴木勝浩	オオヒメグモを襲ったミスジハエトリ雌
41	27	1977	鈴木勝浩	ヤホシヒメグモの産卵からハッチまで
41	27	1977	小野展嗣	沖永良部島のクモの俗称
41	27-28	1977	山川守	コケオニグモに咬まれて (昭和 51 年 6 月 12 日の観察ノートより)
41	28	1977	栗原輝代子	東北ヘジヨロウグモを求めて
41	29	1977	鈴木勝浩	クモ標本同定会におもう
41	29-32	1977	高橋登	日向薬師 広沢寺のクモ
41	33-35	1977	権田重雄	八柱霊園のクモ
41	41	1977	小澤實樹	表紙に寄せて
42	1-2	1977	萱嶋泉	東京蜘蛛談話会誕生より 10 年を迎えて
42	3	1977	松本誠治	東京蜘蛛談話会創立 10 周年にあたって
42	4-12	1977	小野展嗣	明治時代の日本のクモーミュンヘン博物館所蔵日本産クモの未整理標本の同定記録 -
42	13-16	1977	佐藤幸子	ビジヨオニグモの死・その後
42	17-19	1977	中平清	クモの生態 2 題
42	19-20	1977	石山鉄幸	クサグモの同居グモ
42	21-22	1977	松本誠治	クモ (12 種) の産卵個数
42	23-25	1977	小野展嗣	北緯 50 度線上報告
42	26-28	1977	田中理恵	高山不動というところ
42	29-34	1977	松本誠治	ハエトリグモの分類 (Ⅳ) - ヨーロッパのアリグモの学名に関する諸問題 -
42	35-38	1977	新海栄一	都会のクモ 1. 千代田区 3 番町宮内庁分室庭園のクモ
42	39-40	1977	吉田哉	飛島・粟島のクモ
42	41	1977	熊田憲一	山梨県山中湖村旭ヶ丘のクモーあっちこっちのクモの一環として -
42	42	1977	高橋米夫	コホラヒメグモと卵のう
42	42	1977	小野展嗣	「ひぶがし」追録
42	42-43	1977	鈴木勝浩	クモの産卵回数について
42	43	1977	鈴木勝浩	三宅島にいたオダカグモ
42	43	1977	高野伸二・新海栄一・熊田憲一	イソコモリグモとイシカリコモリグモ
42	44-49	1977	新海栄一	伊豆半島の真正クモ類
43	1-5	1978	吉田哉	台湾クモ類採集旅行
43	6-8	1978	佐藤幸子	ビジヨオニグモのふ化に接して
43	9	1978	松本誠治	クモ標本観察のための一用材 (シリカゲル粉末)
43	10	1978	小野展嗣	アズチグモの食餌
43	10	1978	吉田哉	石垣島で採集したサヤヒメグモ

43	10-11	1978	熊田憲一	イヌダテテングヌカグモの採集記録
43	11	1978	鈴木勝浩	アシナガグモ科 2 種の卵のうを確認
43	15-23	1978	新海栄一・田中理恵・ 栗原輝代子・高橋登	八王子城跡のクモ (I)
44	1-3	1979	中平清	クモの住居拡大
44	4-5	1979	田中穂積	長生きしたクロガケジグモ
44	6-8	1979	佐藤幸子	コサラグモ 2 種について
44	9-13	1979	小野展嗣	北緯 50 度線上報告 (2)
44	14-16	1979	鈴木恵一	研究雑記帳 (1)
44	17-22	1979	熊田憲一	道北紀行
44	23-28	1979	熊田憲一	北海道北部のクモ
44	29	1979	鈴木勝浩	未受精卵を食べるクモ
44	29-30	1979	蓮沼克己	野帳から
45	1-2	1980	中平清	佐藤さんのビジョオニグモに関する文章 を読んで
45	3-5	1980	佐藤幸子	タテヤマサラグモ
45	6	1980	松本誠治	乾燥・収縮してしまったクモの復元方法
45	7-8	1980	栗原輝代子	Note クサグモ (1) - 共食いについて -
45	9-27	1980	熊田憲一	三浦半島の真正蜘蛛類
45	28	1980	吉田哉	台湾の網を張るコモリグモ
45	28	1980	松浦祐司	飼育中のアシダカグモの産卵行動
45	29-35	1980	嶋田順一・田中理恵	巾着田のクモ
46	1-5	1981	松本誠治	SIMON のこと
46	6-8	1981	鈴木勝浩	クモ 6 種の卵のう
46	9-12	1981	佐藤幸子	或るコサラグモの記録
46	13-14	1981	嶋田順一	キゴシジガバチに狩られたクモ
46	15	1981	栗原輝代子	Note クサグモ (2) - 天敵について -
46	16	1981	佐藤幸子	観察裏話
46	17-18	1981	中平清	近ごろ面白いと思ったこと
46	19-23	1981	新海栄一	クモの卵のう写真集 (1)
46	25-31	1981	高橋登・松浦祐司	城山 (根小屋城跡) のクモ
47	19-21	1981	八木沼健夫	萱嶋泉先生の古稀を祝して
47	21-22	1981	植村利夫	萱嶋先生いつまでも
47	22-24	1981	大内実	萱嶋さんと先生たち
47	24	1981	高野伸二	萱嶋先生との出会い
47	25-26	1981	篠原圭三郎	萱嶋泉先生の古稀を祝す
47	26-27	1981	青木淳一	クモ学会の紳士
47	27-31	1981	石野田辰夫	宮崎での萱嶋泉先生
47	31-33	1981	築地満男	萱嶋先生とわたし
47	34-35	1981	菊屋奈良義	萱嶋先生の宿題
47	36	1981	佐藤幸子	我が師・萱嶋先生
47	37	1981	梅林力	萱嶋先生、いつまでもお若くおすこやかに
47	37-38	1981	古浜隆	さらなるご活躍とご指導を
47	38-39	1981	浜村徹三	東京蜘蛛学会発足当時の想い出

47	39-40	1981	松本誠治	慈父
47	40-41	1981	大河内哲二	萱嶋先生と私
47	42-45	1981	国見裕久	萱嶋先生と応用クモ学
47	45-47	1981	小野展嗣	萱嶋先生のお古稀を祝す
47	47-48	1981	熊田憲一	すまな顔
47	48-49	1981	栗原輝代子	萱嶋先生のお古稀を祝して
47	49-50	1981	貞元己良	萱嶋先生のお古稀にあたり
47	50	1981	鈴木勝浩	萱嶋先生と私
47	51-52	1981	新海栄一	萱嶋先生と談話会－萱嶋泉先生のお環暦を祝して－
47	55-56	1981	八木沼健夫	カヤシマグモについて
47	57-64	1981	萱嶋泉	アシダカグモ <i>Heteropoda venatoria</i> (LINNE) の長期飼育報告 (1)
47	65-68	1981	西川喜朗	人工洞および洞窟外の調査と洞窟性クモ類の起源について
47	69-75	1981	小野展嗣	シナカニグモの分布と系統
47	76-78	1981	貞元己良	シロオビトリノフンダマシの網の形態について
47	79-80	1981	佐藤幸子	シモングモの生活史について
47	81-83	1981	斎藤博	ツノタテグモの再発見
47	84-86	1981	鈴木勝浩	私のクモ観察ノートから
47	87-92	1981	林秀幸	オニグモ類の生態観察記録 (第1報)
47	93-100	1981	松本誠治	岸田久吉先生同定による千葉県産クモ類
47	101-103	1981	中平清	クモの人工飼料の工夫
47	104-115	1981	新海栄一	クモの卵のう写真集 (2)
48	1-4	1982	萱嶋泉	アシダカグモ <i>Heteropoda venatoria</i> (LINNE) の長期飼育報告 (II)
48	5-14	1982	貞元己良	民話における蜘蛛の存在価値
48	15-16	1982	佐藤幸子	卵ノウ2種の観察
48	17-22	1982	林俊夫	赤城山の真正蜘蛛類
48	23-29	1982	谷川明男・飯島寿子・上野妙子・森美也子	神奈川県立野庭高等学校周辺の真正蜘蛛類
49	1-7	1982	佐々木勝實	宮城県の真正蜘蛛類－I
49	8-21	1982	斎藤博	北海道のサラグモ (Linyphiidae) について
49	22-25	1982	池田博明・稲葉茂代・小川まゆみ・島津千秋・田村武子・鶴田明子・山口泉	ムラクモヒシガタグモの生態 (1) 網型と捕虫
49	26	1982	嶋田順一	クサグモの爪の電顕写真
50	1-6	1983	池田博明・生物研究部	ムラクモヒシガタグモの生態 (2) 造網時刻, 生態的地位, 補修, 日周活動
50	7-14	1983	萱嶋泉	アシダカグモ <i>Heteropoda venatoria</i> (LINNE) の長期飼育報告 (III)
50	15-17	1983	佐藤幸子	ナニワナンキングモの観察
50	18-26	1983	林秀幸	オニグモ類の生態観察記録 (第2報)
50	27-33	1983	新海栄一・蓮沼克己	高尾山のクモ

51	1-6	1984	池田博明・生物研究部	ムラクモヒシガタグモの生態 (3) 卵と卵のう, 幼生と令の判定
51	7-12	1984	萱嶋泉	アシダカグモ <i>Heteropoda venatoria</i> (LINNE) の長期飼育報告 (IV)
51	13-14	1984	新海明・樋口厚	新潟県十日市地方に伝わるジゴ (ジグモ) の唱え歌と喧嘩民俗について
51	15-22	1984	嶋田順一・鈴木勝浩	天覧山のクモ
51	25	1984	小沢実樹	表紙に寄せて
52	6-8	1985	八木沼健夫	小松敏宏先生に憶う
52	9	1985	植村利夫	小松敏宏博士の追悼号に寄せて
52	10-11	1985	千国安之輔	追悼の記
52	11-12	1985	萱嶋泉	小松敏宏先生の思いで
52	12-15	1985	入江照雄	小松敏宏先生の思い出
52	15-16	1985	松本誠治	小松敏宏先生
52	17-21	1985	新海明	アシナガグモ一種の張った半円網についての一例観察
52	22-24	1985	佐藤幸子	スゾグロサラグモの初捕食について
52	25-38	1985	小田原場内高等学校 生物研究部	クモの拍動, ウラシマグモ・ワシグモの飼育, 観察会報告など
53	5	1985	萱嶋泉	高野伸二先生を偲ぶ
53	6	1985	中平清	白いツバメ
53	7	1985	八木沼健夫	噫 高野伸二先生
53	8	1985	佐藤幸子	高野先生を偲ぶ
53	9-10	1985	高田勝	鳥の師・クモの師
53	10	1985	小沢実樹	高野先生生々々々……
53	11	1985	梅林力	高野さん永久に
53	12	1985	松本誠治	先生を想うと
53	13	1985	浜口哲一	ニシキオニグモとハシグロビタキ
53	14	1985	新海栄一	高野伸二先生をしのんで-3ヶ月にかけた情熱-
53	15	1985	池田博明	高野先生とゴマジロオニグモ
53	16	1985	熊田憲一	高野さん
53	17-18	1985	熊田理恵	「……………」
53	18	1985	高橋登	高野先生の思い出
53	19	1985	嶋田順一	高野先生
53	19-20	1985	小野展嗣	高野伸二先生の思い出あれこれ
53	20-21	1985	松浦祐司	高野先生
53	22-26	1985	佐々木勝実	宮城県網地島の真正蜘蛛類
53	26-27	1985	浜口哲一	神奈川県下のスズミグモの記録 2 例
53	28-30	1985	萱嶋泉	アシダカグモ <i>Heteropoda venatoria</i> (LINNE) の長期飼育報告 (V)
53	31-34	1985	新海明	ヤマオニグモ <i>Araneus uyemurai</i> (?) にみられた網の更新の一例観察
54	1-9	1987	新海明	沖縄クモ観察記
54	10-12	1987	稲葉等代・稲葉茂代	はじめてのクモの飼育~ヤサコマチグモ~

54	13-14	1987	熊田憲一	ハネグモ跳ねた
54	15-21	1987	熊田憲一・加藤輝代子	広徳寺周辺のクモ
54	22-28	1987	池田博明	高麗山のクモ
55	1-2	1987	板倉泰弘	アズマキシダグモの婚姻贈呈
55	3-6	1987	高橋祐子	アシプトヒメグモの生態
55	7-8	1987	谷川明男・堀由紀子	クモ3種の新産地—シロタマヒメグモ・ニワオニグモ・アカスジコマチグモ—
55	9	1987	熊田憲一	談話会活動報告に使用したクモ性別および齢期略号について
55	10-16	1987	熊田憲一・加藤輝代子	伊豆半島天城湯ヶ島町市山のクモ
55	17-24	1987	熊田憲一・加藤輝代子	箱根合宿のクモ
55	25-30	1987	浅間茂	内浦山県民の森の真正蜘蛛類
56	1-3	1988	稲葉茂代	8月の初島のクモ
56	4-10	1988	山川守・熊田憲一	丹沢のクモ 1. 大倉周辺
56	11-14	1988	谷川明男・田副幸子	神奈川県立野庭高等学校周辺の真正蜘蛛類 (補遺)
56	15-18	1988	新海明	キヌアシナガグモ <i>Tetragnatha lauta</i> YAGINUMA の網構造について
56	19-24	1988	瀬戸泰彦	ジョロウグモ幼体の網の観察
56	25	1988	池田博明	クモを狩ったハチはピソン属 (ツヤクロジガバチ属) である
56	25	1988	熊田憲一	コサラグモの小観察
57	1-2	1988	石野田辰夫	宮崎産のコガネグモの俗称とコクサグモについて
57	3-5	1988	松本誠治	オニグモ雄若虫の横糸を張る方向について
57	6-8	1988	新海明	オオトリノフンダマシの卵のうあれこれ—出のう時期と出のうの位置—
57	9-10	1988	谷川明男	ニセキクヅキコモリグモの生態小観察
57	11-12	1988	貞元己良	合宿に参加して
57	13-18	1988	新海明	沖縄クモ観察記 (2)
57	19	1988	新海明	ワキグロサツマノミダマシ雄成体の「餌の掠奪」
57	19-20	1988	熊田理恵	秋にみつけたアズチグモ
57	20	1988	稲葉茂代	アリの卵を食べるクモ
57	21-24	1988	熊田憲一	浄土平・微温湯温泉周辺のクモ
57	25-32	1988	熊田憲一・千国安之輔	安曇野のクモ
58	1-3	1989	萱嶋泉	本田正次先生に聞いた岸田久吉先生のことども
58	4-5	1989	小沢實樹	素晴らしきクモと人間たち
58	6-7	1989	浜村徹三	私とクモの長いつきあい
58	7-8	1989	大河内哲二	「KISHIDAIA」発刊20周年に寄せて
58	9-10	1989	松本誠治	KISHIDAIA 発行20周年に寄せて
58	10-16	1989	小野展嗣	自問自答
58	16	1989	佐藤幸子	KISHIDAIA と私
58	17-18	1989	池田博明	談話会をクモの博物学的研究のメッカに
58	18	1989	高橋登	東京蜘蛛談話会と私

58	19	1989	板倉泰弘	談話会と私-3年間の印象
58	20-21	1989	新海明	バック・トゥ・ザ・フューチャー
58	21	1989	谷川明男	キシダイア発刊 20周年によせて
58	22-24	1989	熊田憲一	入会と初めての投稿
58	25-29	1989	新海明	岸田久吉先生の遺稿「ジャウゴグモ」について
58	30-33	1989	笹岡文雄	キシノウエトタテグモの交尾行動について
58	34-36	1989	稲葉茂代	チリグモの交接について
58	37-39	1989	貞元己良	「我が師と蜘蛛」-萱嶋先生の喜寿をお祝して-
58	40-45	1989	池田博明	東京クモゼミ報告 (I)
58	46-47	1989	新海明	キヌアシナガグモの網構造について (続報) 幼体の網
58	48	1989	熊田憲一	8年目のアシダカグモ
58	48-49	1989	新海明	アシナガグモの成体によるジョロウグモの網の掠奪
58	49	1989	板倉泰弘	卵のうを食い破るアズマキシダグモ
58	50-55	1989	谷川明男	田中徳久氏採集による各地のクモ同定記録-沖縄, 小笠原, 硫黄島, 三宅島, 真鶴, 八ヶ岳, 清里, 北海道-
58	56-63	1989	熊田憲一	猿島のクモ
58	64-71	1989	笹岡文雄	丹沢・大倉周辺のクモ
59	1-4	1989	久保寺みか・池田博明	キヒメグモの色彩変異
59	5-8	1989	牧孝匡	オオツチグモの飼育観察記
59	9-12	1989	新海明	イソウロウグモ類による卵のう捕食の観察
59	13-14	1989	板倉泰弘	亜成体に球愛するアオグロハシリグモ
59	15-17	1989	新海明	キシノウエトタテグモ探蛛会報告
59	18	1989	板倉泰弘	ウスズジハエトリの交接
59	19	1989	笹岡文雄	最近見たこと, 気づいたこと 2題
59	20	1989	小野展嗣	貝の中からミズグモ
59	20	1989	磯部達男	神奈川県で見つけた珍しいクモ
59	21	1989	新海明	シリアゲムシによるクモの餌の強奪
59	21-22	1989	稲葉茂代	スネグロオチバヒメグモの交接
59	22	1989	池田博明	クミスアラグモの交尾時期
59	22-23	1989	池田博明	ズグロオニグモのメスがオスを食べる
59	23	1989	谷川明男	神奈川県にまたいたスズミグモ
59	23-24	1989	谷川明男	ジョロウグモの対ポルティア逃避行動
59	24	1989	谷川明男	箱根仙石原からヒメハナグモ
59	24	1989	熊田憲一	コアシダカグモの集まるトイレ
59	25-44	1989	谷川明男	西表島のクモ類採集記録 I
59	45-51	1989	池田博明	東京蜘蛛談話会 真鶴合宿報告(1988年7月30日~8月1日)
60	1-4	1990	新海明	二枚扉を持つキシノウエトタテグモの住居の記録

60	5-14	1990	小野展嗣・林秀幸	ユーラシア産フクログモ属クモ類の種名目録
60	15-25	1990	佐藤幸子・日下部光代	多摩丘陵の畑のクモ
60	26	1990	棚沢新	僕が観察した2例の卵食について
60	26-27	1990	新海明	メガネドヨウグモの幼体によるフタスジサラグモの餌の強奪
60	27	1990	稲葉茂代	ハウシグモの脱皮
60	28	1990	小野展嗣	カワラメキリグモを沖縄の海岸で採集
60	28	1990	谷川明男	奄美大島にカトウツケオグモがいた
60	28-29	1990	谷川明男	南西諸島のコガタコガネグモは鈍感
60	29	1990	谷川明男	横浜にサカグチトリノフンダマシ飛来
60	29-30	1990	谷川明男	キンバエにつれさられたオオヒメグモ
60	30	1990	熊田憲一	シナノアシナガグモの新産地
60	31-38	1990	小野展嗣・貞元己良・谷川明男	奄美大島のクモ類採集記録
60	39-46	1990	板倉泰弘	愛知県足助町および設楽町段戸裏谷のクモ
61	1-3	1991	池田博明	コガネヒメグモのオス間闘争
61	4	1991	小野展嗣	千葉県で採れたサソリモドキ
61	4-5	1991	池田博明	ムネグロサラグモの求愛・交尾
61	5	1991	山川守	ガス瞬間湯沸かし器の不完全燃焼を引き起こすクモの糸
61	5	1991	谷川明男	斑紋のあるワキグロサツマノミダマシ
61	6	1991	谷川明男	ヤリグモ対オナガグモ
61	6	1991	熊田憲一	キマダラヒラタヒメグモの新産地
61	6-7	1991	新海明	ツクネグモの交接の観察
61	7	1991	新海明	カネコトタテグモとキシノウエトタテグモの混棲地
61	7-8	1991	谷川明男	常念岳の山麓でコケオニグモを発見
61	8	1991	田副幸子	緑のオニグモ?発見, 田沢湖で
61	8	1991	谷川明男	渡瀬線を越えたオオジョロウグモの幼生
61	9-12	1991	新海明	動物学雑誌に掲載された真正クモ類の文献目録 1巻から60巻まで(1888~1951)
61	13-18	1991	熊田憲一・谷川明男	福島県南部のクモ類採集記録
61	19-26	1991	山川守・熊田憲一	丹沢のクモ 飯山観音周辺
61	27-32	1991	谷川明男	屋久島のクモ類採集記録
61	33-42	1991	新海明	八王子城跡のクモ
62	1-2	1991	新海明	ツクネグモの造網行動
62	3-8	1991	貞元己良	蜘蛛の発見・採集法あれこれ
62	9-10	1991	諏訪哲夫	ジョロウグモの生息数調査
62	11-12	1991	諏訪哲夫	わら巻きの中で越冬するクモの一記録
62	13-18	1991	池田博明	座間市のクモ調査ノート (1)
62	19	1991	徳本洋	コゲチャハエトリの一種 <i>Sitticus</i> sp. 成体の出現期間
62	19	1991	谷川明男	学校の教室にカタオカハエトリが

62	20	1991	新海明	金鱗斑のないコガネヒメグモ
62	20	1991	中島晴子	オオヒメグモに吊されたヤモリ
62	21	1991	谷川明男	マルゴミグモとトゲゴミグモの分布について
62	21	1991	平松毅久	デーニッツハエトリに捕食されたオウギグモ
62	22	1991	平松毅久	緑色のヒメグモ
62	22-23	1991	永田勝利	勉強会の場所を間違えた入会者
62	23-24	1991	谷川明男	ホルストジョウゴグモにかみつかれた
62	24-25	1991	諏訪哲夫	カバキコマチグモに咬まれた一記録
62	25	1991	熊田憲一	ゴミグモとシロカネイソウロウグモ
62	26-30	1991	谷川明男	西表島のクモ類採集記録 II
62	31-38	1991	田副幸子・谷川明男	菅平のクモ類採集記録
63	1-6	1992	鈴木成生	東京都心北部におけるキシノウエトタテグモの生息分布調査
63	7-16	1992	田副幸子	セスジアカムネグモ, コトガリアカムネグモ, トガリアカムネグモについて
63	17-22	1992	池田博明	クモの幼体の記載
63	23-25	1992	棚沢新	メダマグモの観察
63	26-30	1992	新海明	トタテグモ類の生態 (1) 生活史
63	31	1992	笹岡文雄	徘徊中のキシノウエトタテの雌を採集
63	31	1992	笹岡文雄	キシノウエトタテの寿命について
63	31-32	1992	前川隆敏	ハエトリグモの網膜の動きを見る
63	32	1992	平松毅久	ワキグロサツマノミダマシの破網
63	32-33	1992	平松毅久	宿主の死骸を食べるイソウロウグモの幼体
63	33	1992	池田泉	シャコグモ, オオツリガネヒメグモをおそう
63	33-34	1992	池田博明	神奈川県下のスズミグモを2例追加
63	34-35	1992	池田博明	脱皮中にアリに襲われたクサグモ
63	35	1992	池田博明	交尾で顎を使うヤサガタアシナグモの雄
63	35-36	1992	前川隆敏・池田博明	野外でもわかるハエトリの脱皮の兆候
63	36-37	1992	熊田憲一	一吸い4頭
63	37-38	1992	谷川明男	アメリカジガバチに狩られたクモ ハチに教えられた新産地
63	38	1992	谷川明男	はちに狩られたクモ その2
63	39	1992	池田博明	ヤサコマチグモの雄と雌
63	40	1992	谷川明男	ムシバミコガネグモは飛び降りない?
63	40	1992	谷川明男	ポルティアの産室
63	40-41	1992	新海明	ホシミドリヒメグモの子育て行動
63	41	1992	新海明	アシプトヒメグモの親による「開のう」の観察
63	42-48	1992	谷川明男・熊田憲一	野津田のクモ
63	49-56	1992	熊田憲一・谷川明男	神武寺のクモ
64	1-5	1992	小澤實樹	コマチグモ族の屋方

64	6-8	1992	棚沢新	チブサトゲグモの網に見られる綿状の糸について
64	9-12	1992	笹岡文雄	キシノウエトタテは住居を出るか？ その行動について
64	13-14	1992	貞元己良	冬季における蜘蛛の発見採集方法
64	15-22	1992	徳本 洋	金沢市街地のジョロウグモ雌個体の秋・冬季における消失状況と産卵ならびに気象との関係
64	23-26	1992	新海明	ハンゲツオスナキグモの網構造と餌捕獲行動
64	27-32	1992	池田博明	伊勢原市子易の水田のクモ相
64	33-38	1992	貞元己良	香港紀行（香港のクモ採集記）
64	39	1992	新海明・畑守有紀・横山和正	樹上に住居を作るキシノウエトタテグモ
64	39-40	1992	新海明	ガガンボを捕えたヤリグモ
64	40	1992	平松毅久	ズグロオニグモ幼体間に見られた造網終了直後の網の乗っ取り
64	41	1992	平松毅久	埼玉県でサカグチトリノフンダマシ
64	41	1992	新海明	住居扉をコケで覆ったキシノウエトタテグモ
64	42	1992	谷川明男	イソウロウグモの一種の交接
64	42-43	1992	加藤むつみ	ギボシヒメグモの一世代飼育報告
64	44-52	1992	平松毅久	巾着田のクモ
64	53-56	1992	谷川明男	西表島のクモ類採集記録 III
65	1-2	1993	池田博明・前川隆敏	ネコハエトリの雄の採集脱皮の条件を探る（予報）
65	3-8	1993	牧孝匡	キシノウエトタテグモの夜間徘徊行動について
65	9-12	1993	新海明	日本産の「子育て」グモについて
65	13-20	1993	牧孝匡	カネコトタテグモの習性
65	21-22	1993	加藤むつみ	脱皮時期の見分け方と飼育上の意義
65	23-28	1993	池田泉	ヒメグモ幼体の生活
65	29-33	1993	平松毅久	ワキグロサツマノミダマシの求愛行動および交尾行動
65	34	1993	木村正吾	ハタケグモ成体の群集行動について
65	35	1993	鈴木成生	冬のジョロウグモ
65	35-36	1993	鈴木成生	オオトリノフンダマシの出囊
65	36	1993	鈴木成生	ギンメッキゴミグモの出囊の一例
65	37	1993	小澤實樹	旅を豊かにしてくれたクモ 2 種
65	37	1993	池田博明	樹皮下で越冬するアオオビハエトリ
65	38	1993	池田博明	時期遅れに葉上で交尾するネコハエトリ
65	38	1993	池田博明	雌の真上を駆けぬけた雄のキハダエビグモ
65	38-39	1993	新海明	ズグロオニグモの幼体による餌盗み行動の観察
65	39-40	1993	新海明	洛北鷲森神社のアワセグモの木
65	40	1993	谷川明男	神奈川県大和市でシッチコモリグモを採

				集
65	40-42	1993	谷川明男	オオジョロウグモの色彩変異について
65	42-43	1993	谷川明男	触肢のフ節がないハラビロスズミグモの雄
65	43	1993	新海明	ギボシヒメグモは多化性のクモ
65	43	1993	谷川明男	シマゴミグモの分布東端
65	44-46	1993	池田博明	酒井春彦氏採集の八甲田山の真正クモ類とザトウムシ
66	1-8	1994	新海明	冬虫夏草のクモタケについて
66	9-11	1994	新海明	小田原周辺の冬虫夏草(クモタケ)の分布
66	12-13	1994	鈴木成生	東京都区内におけるクモタケの発生について
66	14-15	1994	加藤むつみ	トリノフンダマシの脱皮殻に関する報告
66	16-19	1994	笹岡文雄	「形」としてのクモ、そしてクモはいかにしてデザインされたか
66	20-22	1994	徳本洋	ジョロウグモを狩る狩人蜂
66	23-26	1994	池田博明・谷川明男	ヨツデゴミグモの求愛と交尾
66	27-33	1994	前川隆敏・池田博明	飼育条件下でのネコハエトリ幼体の成長と発育
66	34-38	1994	貞元己良	夏の合宿に参加して
66	39	1994	鈴木成生	ユカタヤマシログモの屋外での採集例
66	39	1994	鈴木成生	東京都心部のカネコトタゲモ
66	40	1994	鈴木成生	キシノウエトタゲモの幼体の天敵について
66	40	1994	鈴木成生	キシノウエトタゲモの捕食について
66	41	1994	宮下直	ジョロウグモの死亡要因
66	42	1994	宮下直	アシナガグモによるジョロウグモの網の乗っ取り
66	42	1994	谷川明男	和歌山県でムツトゲイセキグモを採集
66	43	1994	新海明	クミスアラグモの精網作成行動
66	44	1994	新海明	ツクネグモの条網保持行動
66	45	1994	新海明	シロカネイソウロウグモによるクモの捕食
66	45	1994	谷川明男	愛知県豊橋市でクロガケジグモを採集
66	46	1994	池田博明	フタオイソウロウグモの腹部の突出度は変化する
66	46	1994	谷川明男	ムシバミコガネグモとコガタコガネグモ
66	47	1994	棚沢新	ヒゲナガハシリグモの一習性
66	48-49	1994	徳本洋	金沢市におけるジョロウグモの1月での生存例
66	48	1994	徳本洋	イソハエトリの集団越冬例
66	50	1994	木村知之	ミヤグモの戸締り
66	50	1994	木村知之	河原の石の下で卵囊を抱えるハエトリ
66	50	1994	木村知之	三浦半島でユアギグモを採集
66	51	1994	池田博明	ヨツデゴミグモ 1雌当りの卵のう数

66	51	1994	池田博明	トビイロフクログモがウロコアシナガグモを捕食
66	51	1994	池田博明	第4脚で糸をくり出すユウレイグモ
66	52-53	1994	谷川明男	咬まれた, 咬まれた, 刺された, 咬まれた
66	53	1994	谷川明男	車の中にチュウガタシロカネグモが
66	53	1994	池田博明	アリグモの雄が亜成体雌の住居の入口で脱皮を待つ
66	54	1994	笹岡文雄	埼玉県産キシノウエトタテとクモタケ
66	54-55	1994	谷川明男	キオヒキグモの雄は幼体で出囊する
66	55	1994	谷川明男	内陸のマルゴミグモ
66	56-64	1994	新海栄一・笹岡文雄	五日市横沢入のクモ
67	1-2	1994	中平清	麻酔されたクモ
67	3-8	1994	小澤實樹	くも・8角形パターン之谜
67	9-10	1994	諏訪哲夫	ヘリジロサラグモの観察2例
67	11-13	1994	新開孝	ヒメカマキリモドキの幼虫がとりついたクモ数種について
67	14-18	1994	加藤むつみ	成長期のヤリグモの, 摂食傾向に関する報告
67	19-20	1994	加藤むつみ	ヤリグモの交接と雌グモを引きつけるものについてのある仮説
67	21-24	1994	加藤むつみ	簡易加温箱とキジロオヒキグモの飼育
67	24-26	1994	新海明	シモングモの網構造と餌捕獲行動について ユウレイグモ科のクモは単性域類か
67	27-28	1994	伊田信明・池田博明	カバキコマチグモの刺咬症の1例
67	29-30	1994	後藤好正	コアシダカグモの越冬例
67	31-37	1994	後藤好正	横浜市港北区で採集されたクモの記録
67	38-42	1994	伴満	北海道金山ダム湖, 網走川流域および斜里川下流域のクモ
67	43	1994	宮下直	クサグモの異常に早い造網と発育
67	43-44	1994	平松毅久	タカラダニに寄生された双翅類, クモの網にかかる
67	44-45	1994	平松毅久	アシヨレグモ幼体をくわえていたオオハエトリ雄幼体
67	45	1994	谷川明男	鎌倉にチュウガタシロカネグモ
67	45	1994	木村知之	河原の石の下からハモンエビグモ
67	46	1994	木村知之	ヒメカラスハエトリによるチリイソウロウグモの捕食
67	46	1994	木村知之	韓国で <i>Chrisso lativentris</i> を採集
67	47	1994	木村知之	千葉県清澄で採集されたコケオニグモ♀
67	47-48	1994	新海明	直径2mの円網の記録
67	48	1994	新海明・金野 晋	奈良県吉野でユアギグモ一種を発見
67	49	1994	新海明	横浜市内からユアギグモ科の一種を発見
67	50-55	1994	新海明・蓮沼克己	福島県裏磐梯高原のクモ
68	1-48	1995	熊田憲一・池田博明・谷川明男	神奈川県産クモ類目録
69	1-5	1995	池田千洋	ヤマシロオニグモの生態

69	7-14	1995	加藤むつみ	飼育下におけるヤリグモの発育
69	15-17	1995	宮下和喜	飼育条件下でのアサヒエビグモ幼体の発育経過
69	19-21	1995	徳本洋	モリアオガエルによるクモ捕食
69	23-27	1995	新海明	千葉県清澄山におけるジョロウグモの個体数密度の年変化・20年間(1974年～1993年)のとりまとめ
69	29-35	1995	畑守有紀	樹上に住居を作るキシノウエトタテグモについての新知見
69	37	1995	宮下直	クサグモの網上の餌を横取りするアリ
69	37	1995	工藤泰恵	マツモトオチバカニグモと卵のう
69	38	1995	小野展嗣	ツユグモのオスの腹部のスジはだんだん赤くなる
69	38-39	1995	新海明	ユカタヤマシログモの卵のう保持姿勢
69	39	1995	谷川明男	小網代でチュウガタシロカネグモを採集
69	39	1995	谷川明男	北海道にもシノビグモがいる
69	39-40	1995	畑守有紀	金沢市兼六園における地中性のクモ類の分布
69	40-41	1995	赤羽尚夫	スジプトハシリグモの魚の捕食行動を撮影
69	41-42	1995	赤羽尚夫	神奈川県厚木市でムツトゲイセキグモの生息を確認
69	43-52	1995	新海明・高橋祐子	伊豆半島松崎町雲見のクモ
69	53-61	1995	新海明	紀伊半島熊野市周辺のクモ
70	1	1996	萱嶋泉	忘れてはならない恩人 八木沼健夫先生
70	2	1996	小澤実樹	先導人八木沼健夫先生に感謝
70	2-3	1996	徳本洋	八木沼先生宅での思い出
70	4	1996	谷川明男	間に合わなかったお礼状
70	4-6	1996	池田博明	八木沼先生から出された大きな宿題
70	6	1996	鈴木成生	紙上の八木沼先生
70	6-7	1996	木庭奏	八木沼健夫先生を偲ぶ
70	8	1996	加藤輝代子	お別れ
70	9-11	1996	加藤むつみ	飼育下のハンゲツオスナキグモの脱皮に関する報告
70	11-19	1996	新海明	誰も知らなかった!?円網の張り方
70	21-23	1996	谷川明男	西表島のクモ類採集記録 IV
70	25-31	1996	鈴木成生	飼育条件下におけるハグモの一種の交尾, 産卵, 出囊と子育て様行動および幼体生残に関する観察記録
70	33-34	1996	笹岡文雄	キシノウエトタテグモの飼育下の餌について
70	35-40	1996	鈴木成生	キシノウエトタテグモの生態(1)産卵・出囊・出巢についての予備的検討
70	41-44	1996	鈴木成生	キシノウエトタテグモの生態(2)野外移植による産卵率の検討
70	45-47	1996	鈴木成生	キシノウエトタテグモの生態(3)産仔数について

70	49-56	1996	鈴木成生	キシノウエトタテグモの生態(4)産卵および出囊について
70	57-59	1996	宮下和喜	ユカタヤマシログモの長日と短日条件下での幼体発育
70	61	1996	工藤泰恵	キイロスズメバチに襲われたオオシロカネグモ
70	61	1996	工藤泰恵	日比谷公園でチュウガタシロカネグモ
70	62-63	1996	東条清・新海明	小豆色のトリノフンダマシを採集
70	63	1996	新海明・新海栄一	ソメワケトリノフンダマシの卵のうの観察
70	63-64	1996	新海明・加藤輝代子	千葉県清澄山で採集されたニシキオニグモの円網の記録
70	64-65	1996	新海明	クミスアラグモとユノハマサラグモ、どちらが強いか
70	65-66	1996	谷川明男	沖縄島新記録のクモ4種、ヤセゴミグモ・ミツカドゴミグモ・イリオモテアシナガグモ・リュウキュウセンショウグモ
70	66	1996	谷川明男	奄美大島でイリオモテアシナガグモを採集
70	66-67	1996	谷川明男	ナガマルコガネグモの団居に侵入していたシロカネイソウロウグモ
70	67	1996	谷川明男	日本産のクモを記載した研究者たち
70	68	1996	平松毅久	西吾野に大量の赤いハグモ
70	69	1996	木村知之	雨の中のクモ
70	69-71	1996	伴満	クモあれこれ5題
70	71	1996	伴満	ツシマトリノフンダマシ・スズミグモ・ムツトゲイセキグモの発見
70	71-72	1996	伴満	塩原で蜘蛛の化石を見た
70	72-74	1996	池田博明	セアカゴケグモとハイイロゴケグモを探そう
70	74-75	1996	木村知之	横浜市で採集されたハイイロゴケグモの卵のうの観察
71	1-4	1997	宮下和喜	ネコハエトリの幼体発育と卵のう産出
71	5-6	1997	加藤むつみ	飼育下のハイイロゴケグモの脱皮に関する報告
71	7-11	1997	池田博明	クモ観察会指導マニュアル
71	13-20	1997	長島充	千葉県佐倉市で記録された真正クモ類
71	21	1997	谷川明男	アカイソウロウグモの採集記録追加
71	21	1997	新海明・三川英之ほか	オニグモの網内で餌盗みしていたアシナガグモの観察
71	22	1997	泉宏子	シロオビトリノフンダマシの交接
71	23-24	1997	谷川明男	アカオビゴケグモの採集・観察・雑感
71	25	1997	谷川明男	ホシスジオニグモの変わったラッピング
71	25	1997	谷川明男	寒い夜のイエオニグモ?
71	25-26	1997	谷川明男	緑のハグモも子育てをする?
71	26	1997	平松毅久	ジョロウグモ幼体の網にいたワキグロサツマノミダマシ雄亜成体
71	26-27	1997	平松毅久	腹部背面に褐色斑紋をもつワキグロサツ

					マノミダマシ
71	27	1997	伴満	河原のハエトリグモの産卵	
71	27	1997	伴満	ムツトゲイセキグモの雄を採集	
71	29-36	1997	木村知之・高橋祐子	飯山観音のクモ	
71	37-43	1997	池田博明	丹沢のクモ(松田町寄, 秦野市二股・大倉, 桧洞丸)	
72	1	1997		大熊千代子さんと東京蜘蛛談話会	
72	2	1997	西日本新聞	女性クモ博士誕生	
72	3	1997	萱嶋泉	大熊千代子姉を偲ぶ	
72	4-5	1997	石野田辰夫	大熊千代子博士への追悼	
72	5-7	1997	谷川明男	え?ほんとうに?	
72	7-8	1997	新海明	網研究の先駆け	
72	8-9	1997	佐藤幸子	大熊さんと「猫ちゃん」	
72	9-11	1997	小野展嗣	いつかどこかで(3)大熊千代子さんのこと (続)	
72	11-12	1997	小澤実樹	大熊千代子先生を惜しむ	
72	12	1997	松本誠治	大熊千代子さんのこと	
72	12-13	1997	池田博明	大熊さんのこと	
72	13-15	1997	新海栄一	大熊さんに送る言葉	
72	16-18	1997	新海明	ツリサラグモとムネグロサラグモの精網 と交接の観察	
72	19	1997	佐藤幸子	オオヤミイロカニグモの交接の観察	
72	20-21	1997	佐藤幸子	ハタケグモの産卵と成長	
72	22-26	1997	加藤むつみ	トゲグモの成長に伴う形態変化と脱皮型 の変化・トゲグモのトゲはいつ生えるか	
72	27-30	1997	新海明	「自然の観察」(むさしの自然研究会編)に 掲載されたクモ類の文献抄録	
72	31-33	1997	新海明	「採集と飼育」(日本科学協会)に掲載され たクモ類の文献目録	
72	34-47	1997	畑守有紀・新海明・上 田俊徳	クモタケ <i>Nomuraea atypicola</i> の全国 分布調査結果(1993~1996年)	
72	48-51	1997	新海明・平松毅久	ハグモの一種 <i>Dictynasp.</i> (通称「赤いハグ モ」)の配偶行動	
72	52	1997	新海明・梅林力	クモの糸上のコウガイビルを観察 2 例	
72	52-53	1997	新海明	ジグモの分散(パルーニング)の観察	
72	53	1997	新海明	「植物及動物」に掲載されたクモ類の文 献目録	
72	54	1997	新海明・金野晋	九州地方のワスレナグモの記録	
72	54	1997	新海明	網の中にいたコハナグモ	
72	55	1997	新海明・宮下直・千田 高史	横浜市でアカイソウロウグモを発見	
72	55	1997	新海明	富士山麓でのジョロウグモの記録	
72	56	1997	安田明雄	高知で謎の卵のうを発見	
72	56	1997	笹岡文雄	空蟬とクモ	
72	57	1997	安田明雄	金華山でトゲグモを発見	
72	57	1997	安田明雄	ソメワケトリノフンダマシの採集とその 卵のうの観察記録	

72	58-63	1997	福島彬人	秋田県の真正蜘蛛類研究史
72	64-82	1997	福島彬人	秋田県の真正蜘蛛類目録
73	1	1998	池田博明	近藤昭夫氏を悼む
73	2	1998	池田博明	錦三郎氏を悼む
73	3-6	1998	加藤むつみ	トゲグモの成長に伴う模様の変化と硬化部位（白い十字架を背負ったクモがどのようにして觸體模様を背負うようになるか）
73	7-11	1998	新海明	沖縄クモ観察記(3)
73	12-16	1998	池田博明	室内でのクモの実験と講話
73	17-20	1998	谷川明男	オオジョロウグモの造網場所移動の観察
73	21-22	1998	畑守有紀	全国クモ相談室第1回滋賀県産オヒキグモの一種について
73	22-23	1998	平松毅久	夜間にぶら下がって眠る？ハエトリグモ
73	23-24	1998	新海明	セマルトラフカニグモによるアリの捕食
73	24	1998	平松毅久	続報5年前のサカグチトリノフンダマシ
73	24-25	1998	笹岡文雄	カネコトタテグモの孵化
73	25	1998	谷川明男	北海道からオノゴミグモが採集された
73	25-26	1998	工藤泰恵	ムツトゲイセキグモの飼育下における投げ縄行動
73	26	1998	谷川明男	ジョロウグモの迷網除去実験
73	27-28	1998	新海明	オオヒメグモに寄生するハチ(マダラコブクモヒメバチ)
73	28	1998	新海明	沖縄県での珍蛛の採集記録
73	29-36	1998	平松毅久	飯能市西吾野のクモ
73	37-44	1998	宮下直・笹岡文雄	東京都田無市・東京大学付属演習林田無試験地のクモ
73	45-50	1998	安田明雄	小網代の森のクモ
73	51-57	1998	笹岡文雄	茨城県久慈郡大子町のクモ
74	1-6	1998	宮下和喜	ナカムラオニグモの卵のう産出と幼体発育
74	7-10	1998	新海明	ミナミノシマゴミグモによる円網の修繕
74	11-16	1998	小笠原幸恵	飼育下におけるトガリクサチヒメグモの網型と卵のうについて
74	17-20	1998	谷川明男	ジョロウグモの造網場所移動の観察とオオジョロウグモの比較
74	21	1998	新海明	降雨時のジョロウグモの網
74	21-22	1998	新海明	ジョロウグモでみられた降雨後の網の張り替えのパターン
74	22	1998	谷川明男	餌を引きずって網の上を歩いたオオジョロウグモの幼体
74	23-32	1998	新海明・池田博明・谷川明男	沖縄県名護市周辺のクモ
74	33-100	1998	新海栄一	クモ類による環境の評価
75	1-3	1998	鈴木裕・安田明雄	麻酔したクモに対するネコハエトリの求愛行動
75	4-6	1998	池田博明・中山美和・稲葉茂代	神奈川県平塚市の越冬期メガネヤチグモ上吉沢個体群

75	7-9	1998	梅林力	クモも遊ぶか、トレーニングするか
75	10-13	1998	小笠原幸恵	ヤホシサヤヒメグモ <i>Coleosoma octomaculatum</i> の体色変化とエサの関係について
75	14-18	1998	池田博明	ヒロセハエトリを求めて
75	19-20	1998	谷川明男・池田博明	イオウイロハシリグモの飼育記録
75	21-23	1998	新海明	落葉落枝に支えられた円網の記録
75	24	1998	安田明雄	横浜市でのアカイソウロウグモの記録
75	24-25	1998	平松毅久	船橋県民の森にオオクマヒメドヨウグモ
75	25	1998	新海明	オオジョロウグモの吸水の観察
75	26	1998	新海明・金野晋	東京八王子でスズミグモの網を発見
75	26	1998	谷川明男	標本ラベルについて
75	27-44	1998	梅林力・井上房枝・小澤実樹・熊田憲一・松浦祐司・松本誠治	東京都杉並区のクモ相
76	1	1999	小澤実樹	表紙に寄せて
76	2-5	1999	萱嶋泉	東京蜘蛛談話会発足の前後の事情
76	6-7	1999	大河内哲二	「KISHIDAIA」発刊の頃の思い出
76	8-9	1999	松本誠治	談話会通信発刊のころの思い出
76	9-10	1999	新海栄一	昭和43年12月21日(KISHIDAIA発行を決意した日)
76	11-13	1999	小野展嗣	いつかどこかで(4)編集, 編集また編集
76	14-23	1999	新海明	東京蜘蛛談話会の活動記録(1966-1999)
76	24-26	1999	泉宏子	オオクマヒメドヨウグモの生態観察
76	27-29	1999	加藤むつみ	トゲグモの卵のうと越冬
76	30-33	1999	板倉泰弘	苦節9年, ハヤテグモの生息環境と婚姻給餌発見まで
76	34-35	1999	船曳和代	クモの網の展示標本の作り方
76	36-40	1999	徳本洋	八丈島のジョロウグモ消滅か?
76	41-48	1999	宮下和喜	ハナグモの生活史
76	49	1999	八幡明彦	コシロカネグモのクモ食い
76	49	1999	平松毅久	キンヨウグモの擬死
76	49-50	1999	平松毅久	オウギグモの求愛行動
76	51-54	1999	伴満・大川秀治	神奈川県津久井郡城山町のクモ
76	55-58	1999	池田博明・伴満	夏の神津島のクモ
76	59-60	1999	池田博明	「神奈川県産クモ類目録」追記
76	61-101	1999	谷川明男・佐々木健志	沖縄県産クモ類目録
77	1-2	1999	萱嶋泉	湯原清次先生に教えて頂いたこと
77	3-4	1999	須賀瑛文	KISHIDAIA 発刊 30 周年をお祝いして
77	4-5	1999	太田定浩	『KISHIDAIA』発行 30 周年をお祝いする
77	5-6	1999	貝發憲治	「KISHIDAIA」発刊 30 周年に寄せて
77	6-7	1999	吉田真	KISHIDAIA には負けへんで!
77	7-8	1999	東條清	和歌山クモの会からのお祝いの言葉
77	8-9	1999	米田宏	祝辞並びに「家蜘蛛」になったクロガケジグモについて

77	10	1999	佐藤幸子	クモを学んで 30 年
77	11	1999	山川守	談話会の思い出
77	11-13	1999	貞元己良	クモとの付き合い, 「初めて」という言葉の思い出
77	13-15	1999	加藤輝代子	バラグアイから発刊 30 周年を記念して
77	15-17	1999	梅林力	東京蜘蛛談話会 あれこれ思い出話
77	18-19	1999	笹岡文雄	私は東京蜘蛛談話会!
77	19	1999	木村知之	入会 10 周年に思うこと
77	20	1999	平松毅久	キシダイア 30 周年談話会歴 10 年
77	21	1999	嶋田順一	「談話室・滝沢」
77	22	1999	池田博明	一本の電話
77	22-24	1999	新海明	夢
77	24	1999	谷川明男	キシダイアよ永遠なれ
77	25	1999	安田明雄	KISHIDAIA 発刊 30 周年に寄せて
77	26-28	1999	平松毅久	網に落下した花をラッピングして食べたオオシロカネグモ
77	29-34	1999	小菅恭平・高橋聡・安田明雄	円海山におけるイソウロウグモと円網種のクモとの関係
77	35-39	1999	永井均・新海明	カネコトタテグモの扉づくり
77	40-44	1999	梅林力	1998 年秩父合宿後日談 オニグモと寄生バエ
77	45-56	1999	南部敏明	カトウツケオグモ <i>Phrynarachne katoi Tikuni</i> (カニグモ科) の飼育
77	57-60	1999	秋元維那・秋元昇	カバキコマチグモの巣の研究
77	61-68	1999	徳本洋	石川県金沢市近辺各山地におけるジョロウグモの垂直分布
77	69-73	1999	谷川明男	西表島のクモ類採集記録 V
77	74-75	1999	畑守有紀・金野晋	ヤリグモ vs オナガグモ・パート 2
77	75	1999	成田和子	ワスレナグモの仔は天をめざす
77	75-76	1999	新海明	「あっちこっちのクモ」= 目録 DRAGLINES の創設について
77	77	1999	新海明	ゲホウグモの円網の記録
77	78-79	1999	初芝伸吾	年越しするジョロウグモ
77	79-80	1999	新海明	日盛りの中のクモ (オオシロカネグモの体温調節)
77	80	1999	初芝涼	国立市の湧水にヨリメグモ
77	81-82	1999	平松毅久	クモの網にかかった有翅アブラムシ
77	82-83	1999	初芝涼	コケヒメグモの卵嚢保持
77	84-96	1999	大類正久	伊豆のザトウムシ回想録
77	97-103	1999	榊元智子・榊元敏也	滋賀県南部のクモ類採集記録 I
77	104-110	1999	貞元己良・工藤泰恵・和仁道大・長井芳夫	船橋県民の森のクモ
77	111-118	1999	新海明・千田高史・宮下直	埼玉県秩父地方 (大滝村・秩父市) のクモ
77	119-124	1999	田中徳積	コモリグモ科標本のデータの追加 (リスト)
78	1-9	2000	小笠原幸恵	1 卵のうから生まれたゲホウグモの腹部

				の形態の違いおよびその生活史について
78	10-12	2000	平松毅久・笠原喜久雄	スズミグモを埼玉県で初記録
78	13-14	2000	永井均・新海明	キシノウエトタテグモの扉づくり
78	15-20	2000	谷川明男	ジョロウグモ雄の成熟過程の観察
78	21-29	2000	宮下和喜	コガネグモの幼体発育, 越冬および産卵
78	30-36	2000	加藤むつみ	トゲグモの道 (丹沢地域のトゲグモの分布より考察した移動仮説)
78	37	2000	新海明	ヤリグモに捕食されたミナミノアカイソウロウグモ
78	37-38	2000	新海明	死んだジョロウグモを食べようとしたミナミノアカイソウロウグモ
78	38	2000	新海明	ミナミノアカイソウロウグモによる「網食い」の観察
78	39	2000	谷川明男	スズミグモの網にオオジョロウグモの雄
78	39-40	2000	谷川明男	泡瀬にはヤマトウシオグモがいっぱいいる!?
78	40	2000	谷川明男	ハラビロスズミグモは夜に網に出ている
78	40-41	2000	笹岡文雄	キシノウエトタテグモ♂の徘徊時期について
78	41	2000	安田明雄	円海山でシロオビトリノフンダマシを採集
78	41-42	2000	甲野涼	飼育下におけるコケヒメグモ
78	42-44	2000	谷川明男	沖縄島のクモ採集記録
78	44-45	2000	池田博明	1993年9月の高知のクモ
78	46-56	2000	平松毅久	東京クモ談話会 1995年度合宿報告 高知県東部のクモ
78	57-66	2000	平松毅久	東京クモ談話会 1998年度採集観察会報告 天覧山のクモ
78	67-78	2000	新海明・金野晋	東京蜘蛛談話会 1999年度合宿報告 福井県敦賀市周辺のクモ
78	79-142	2000	谷川明男	日本産クモ類目録 (2000年版)
79	1-4	2000	宮下和喜	イズツグモの生活史
79	5-12	2000	高橋登	日本のクモ学と御雇外国人
79	13-19	2000	新海明	西表島クモ観察記 (1)
79	20-42	2000	池田博明	ハエトリグモの学名の解説 (1)
79	43-53	2000	池田博明・新海明・鶴崎展巨・徳本洋・西原かよ子・藤沢備助・榎本敏也・宮下直	ジョロウグモの垂直分布調査
79	54-62	2000	池田博明・山北高等学校自然科学部	ジョロウグモの垂直分布とその要因を探る
79	63	2000	田中穂積	コモリグモ科標本のデータの追加 (リスト) の訂正
79	64-69	2000	甲野涼・初芝伸吾	飼育下におけるムツトゲイセキグモが捕食したガ類について
79	70-71	2000	榎本ともこ・榎本敏也	アリグモ in セミの抜け殻
79	71-72	2000	池田博明	ゴミグモ雄の求愛行動を観察
79	72-73	2000	谷川明男	眼を白黒させるヨリメハエトリ

79	73	2000	谷川明男	チュウガタシロカネグモはオナガが危ないやつだということを知っている
79	73-74	2000	谷川明男	芋虫の巣にいたヤリグモの一種
79	74	2000	中島晴子	ネコハエトリ雌の共食い
79	74-75	2000	貞元己良	我が家の庭にも「ゲホウグモ」がいた
79	75	2000	泉宏子	最終脱皮で雌型から雄型に変わったクモ 2例
79	76	2000	初芝伸吾	2000年を迎えたオニグモ
79	76-77	2000	初芝伸吾・甲野涼	アオオニグモの年越し
79	77-78	2000	伴満	マツモトハエトリが蟻の群れの中に居た
79	78	2000	新海明	京都府向日市善峰寺のクモ
79	79-86	2000	新海明・大川秀治	東京蜘蛛談話会 1999年度採集観察会報告 山梨県大月市扇山周辺のクモ
80	1-6	2001	熊田憲一・萩本房江・加藤輝代子・新海明	トリノフンダマシ類の幼体の捕食行動
80	7-20	2001	入江照雄	オダカユレイグモについて
80	21-49	2001	本田重義	造網性クモ類群集の種内・種間関係
80	50-56	2001	新海明	スズミグモの分布拡大の記録
80	57-64	2001	新海明	ジョロウグモはどこで採られたのか(ローレツ氏の採集地をめぐる考察)
80	65-70	2001	日置乃武子	ムツトゲイセキグモ観察日記
80	71-76	2001	榊本敏也	コブクモヒメバチのゴミグモへの寄生
80	77-80	2001	杉山明	ビジョオニグモについての観察報告
80	81-82	2001	新海明	ジョロウグモの黄色と黒の模様
80	82-83	2001	安田明男	棚網・不規則網に侵入するシロカネイソウロウグモ
80	83-85	2001	笹岡文雄	樹上のキシノウエトタテグモ
80	85	2001	甲野涼	オオツリガネヒメグモに寄生したクモバチ幼虫の正体は?
80	85-86	2001	泉宏子	飼育ハンゲツオスナキグモの寿命
80	86	2001	谷川明男	オオジョロウグモは腹部で太陽を指し示す
80	86-87	2001	甲野涼	ウロコアシナガグモに寄生した幼虫の正体は?
80	87	2001	新海明	裏磐梯でトリノフンダマシを発見
80	87-88	2001	笹岡文雄	マダラヒメグモの寿命について
80	88	2001	新海明	岐阜市金華山(岐阜城)のクモ
80	88-89	2001	新海明	京都市高雄周辺のクモ
80	89-90	2001	八幡明彦	小笠原のクモ
80	90-92	2001	八幡明彦	石垣・西表クモ観察記
80	93-140	2001	新海明	県別クモ類文献リストの一覧
80	141-150	2001	池田博明	東京蜘蛛談話会 2000年度静岡県中根町合宿報告
80	151-155	2001	谷川明男	日本産クモ類目録(2000年版)補遺 1
81	1-3	2001	平松毅久	トガリアシナガグモの造網過程
81	4-8	2001	平松毅久	西表島クモ観察記(2)
81	9-21	2001	新井浩司	ヤクシマキムラグモの生態

81	22-26	2001	高橋登	20世紀のクモの本追記
81	27-33	2001	貞元己良	極楽な合宿に参加して
81	34-35	2001	新海明	斑鳩の法隆寺にクモを尋ねて
81	36-37	2001	池田博明・谷川明男	大和市におけるムナボシヒメグモ個体数の季節的変動
81	38	2001	池田博明	クロマルイソウロウグモがヒメグモ幼体を捕食
81	38-39	2001	初芝伸吾	カニミジグモを捕食するコオニグモモドキ
81	39-40	2001	新海明	オオトリノフンダマシの交接行動
81	40	2001	新海明	オオトリノフンダマシの複数のオスとの交接
81	40	2001	谷川明男	鎌倉市にスズミグモ出現
81	41	2001	新海明・谷川明男	ツシマトリノフンダマシの卵のうの記録
81	41-42	2001	新海明	京都府 京都市吉田山のクモ
81	42	2001	新海明	近江神宮のクモ
81	43-51	2001	小野展嗣・水山栄子	上野公園のクモ類 (第1報)
81	52-82	2001	須賀瑛文・永井均	文献による岐阜県産クモ類目録
81	83-107	2001	熊田憲一	三重県で採集したクモ
81	108-114	2001	今井正巳	東京蜘蛛談話会 2000年度観察採集会報告 東京都立小山田緑地(町田市)のクモ
82	1-4	2002	新井浩司	「蜘蛛喰い蜘蛛」の記録
82	5-10	2002	新井浩司	センショウグモの捕食行動
82	11-14	2002	新海明	トリノフンダマシ類の造網開始時期と造網時刻についての記録
82	15	2002	新海明	トビジロイソウロウグモによるオオトリノフンダマシからの餌盗み
82	15-16	2002	新海明	トリノフンダマシ類の破網行動
82	16-17	2002	長崎緑子	クロマルイソウロウグモを秩父(埼玉県)で採集
82	17-18	2002	笹岡文雄	ワスレナグモの新産地
82	18-19	2002	八幡明彦	アオグロハシリグモの色彩多型
82	19-20	2002	八幡明彦	オオジョロウグモの共食い
82	20-21	2002	八幡明彦	ケアシハエトリのクモ捕獲
82	22	2002	徳本洋	ツシマトリノフンダマシ, 八丈島で発見される
82	23-24	2002	貞元己良	今年も我が家の庭にゲホウグモ現わる
82	24-25	2002	貞元己良	トリノフンダマシ VS ゲホウグモ
82	26-27	2002	平松毅久・嶋田順一	埼玉県新記録種
82	28-30	2002	谷川明男	日本産クモ類目録(2000年版)補遺2
82	31-38	2002	新海明・徳本洋	東京蜘蛛談話会 2001年度合宿報告 富山県立山周辺のクモ
82	39-44	2002	谷川明男	西表島のクモ類採集記録
83	1-2	2002		訃報 高橋登氏急逝

83	3-7	2002	松田久司・漆原弘光・高橋剛・志釜じゅんこう	ジョロウグモの林内での産卵部位と付着物
83	8-10	2002	池田博明	ツノナガイソウロウグモの卵のうとクラッチサイズ
83	11-25	2002	新海明	栗本瑞見著「千虫譜」の中の「蜘蛛」について
83	26-30	2002	加藤むつみ	続トゲグモの道
83	31-47	2002	八幡明彦	千葉県野田市（利根運河）三ヶ尾のクモ
83	48-52	2002	池田博明	松田町自然館のクモ観察会
83	53	2002	安田明雄・佐々木悠・柴田勇輝・山内勇洋・横溝矩之	千葉県館山市でアカイソウロウグモを採集
83	53-54	2002	萩本房枝・萩本果南	ハラダカツクネグモがクモを食べていた
83	54-55	2002	甲野涼	ゴミグモに寄生したクモヒメバチの幼虫は裸で蛹化した！
83	55	2002	笹岡文雄	キシノウエトタテグモの一観察
83	55-56	2002	新海明	ミヤシタイソウロウグモを八王子市で採集
83	56-57	2002	新海明	神奈川県北部からのワスレナグモの記録
83	57-58	2002	新海明・金野晋・畑守有紀	房総丘陵でのキシノウエトタテグモとワスレナグモの新産地
83	58-59	2002	安田明雄ほか	静岡県下田市でアカイソウロウグモを発見
83	59	2002	谷川明男	鎌倉市にアカイソウロウグモ出現
83	59-60	2002	谷川明男	奄美大島新記録のクモ 3 種
83	60-61	2002	谷川明男・新海明	鹿児島県加治木町日木川のクモ
83	61-63	2002	八幡明彦	鹿児島県加治木町、金山橋～龍門滝のクモ
83	63-64	2002	谷川明男・田副幸子	岩手県盛岡市から宮古市にかけてのクモ
83	65-78	2002	入江照雄	長崎県産クモ類目録
83	79-84	2002	安田明雄	東京蜘蛛談話会 2001 年度観察採集会報告 横浜市・円海山のクモ
83	85-95	2002	谷川明男・新海明	文献による宮城県産クモ類目録
84	1-14	2003		追悼 高橋登氏
84	13-15	2003	新海栄一	高橋登君を偲んで
84	15-16	2003	山川守	高橋君の思い出
84	16-17	2003	小野展嗣	いつかどこかで (6) 高橋登さんの急逝に思うこと
84	18	2003	新海明	高橋登さんを悼む
84	19-20	2003	中島晴子	高橋登さんとローレツ
84	20-21	2003	池田博明	慈愛のひと
84	22	2003	新村誠	やさしい笑顔、忘れません
84	22-23	2003	甲野涼	高橋登さんと大井川鉄道
84	23-24	2003	佐藤幸子	高橋登さんを偲んで
84	24-25	2003	貞元己良	高橋登氏の思い出
84	25-26	2003	笹岡文雄	高橋登さんとのこと

84	26-27	2003	斎藤洋一	高橋さんとの一期一会
84	28	2003	谷川明男	お世話になりました
84	29-34	2003	徳本洋	ジョロウグモはどのようにして卵のうに 付着物をつけるか
84	35-46	2003	澤田和久	飼育したジョロウグモの記録
84	47-53	2003	新海明・平松毅久	西表島クモ観察記 (3)
84	54-63	2003	貞元己良	那須がままの合宿に参加して
84	64-65	2003	新海明	あいのこトリノフンダマシを発見
84	65-66	2003	新海明	シロオビトリノフンダマシの色彩変異
84	66-67	2003	新海明	ツノナガイソウロウグモの卵のうについ て
84	67	2003	佐藤幸子	オオヒメグモの卵のうの作り方
84	68	2003	安田明雄ほか	アカイソウロウグモの卵囊の観察
84	68-69	2003	工藤泰恵	千葉県産クモ資料
84	69-71	2003	新海明・谷川明男	島根県で観察したクモ類
84	71-73	2003	貞元己良	栃木県内で採集したクモ
84	73-74	2003	貞元己良	長野県軽井沢町・白糸の滝ハイランドウ ェイ内白糸の滝周辺のクモ
84	74	2003	貞元己良	長野県軽井沢町・白糸の滝ハイランドウ ェイ内峰の茶屋のクモ
84	74-75	2003	貞元己良	長野県真田町横沢, 標高 1000 メートル地 点のクモ
84	75	2003	貞元己良	富山県中新川郡立山町「雄山神社」のク モ
84	75	2003	貞元己良	富山県魚津市魚津温泉, 海岸線堤防の内 側
84	76-78	2003	伴満	岩手県の蜘蛛リスト
84	79-96	2003	水山栄子ほか	川崎市生田緑地のクモ類
84	97-106	2003	福島彬人	田沢湖畔の真正クモ類
84	107-114	2003	新海明・谷川明男	文献による岩手県クモ類目録
84	115-123	2003	新海明・谷川明男	文献による青森県クモ類目録
84	124-130	2003	萩本房枝・新海明	東京蜘蛛談話会 2002 年度合宿報告
85	1-4	2004	波多和馬・波多翼	ジグもとワスレナグモの観察
85	5-12	2004	西野真由子	円網種 6 種の産卵・出のう・まどい
85	13-22	2004	新海明	スズミグモの全国分布調査結果
85	23-28	2004	新海明・谷川明男	昔の名前で出ています (クモの古今の和 名)
85	29-39	2004	秋元維那・秋元昇	ギンメッキゴミグモが上を向く理由
85	40-41	2004	高津佳史	沖縄本島クモウォッチングー沖縄クモ図 鑑を持ってー
85	41	2004	高津佳史	ワカバグモの逆襲
85	41-42	2004	高津佳史	今年も育苗ポットに巣を作ったキシノウ エトタテグモ
85	42-43	2004	新海明	ムレサラグモの網を発見
85	43-44	2004	新海明	ザトウムシが皿網に侵入
85	45	2004	新海明	無斑のヒラタグモを発見
85	46	2004	泉宏子	アシナガグモのはやにえ! ?

85	46	2004	谷川明男	ザトウムシに捕食されていたムツボシオニグモ
85	47-101	2004	藤澤庸助	長野県クモ類目録
85	102-108	2004	加藤輝代子	東京蜘蛛談話会 2002 年度観察採集会報告 市川市小塚山・堀之内貝塚公園周辺のクモ
86	1-9	2004	徳本洋	アシダカグモ分布記録へのコアシダカグモ属の種の誤入
86	10-12	2004	松田まゆみ	伊豆諸島式根島で採集したクモとヤマトウシオグモ, タニカワヤリグモの記録
86	13-14	2004	安藤昭久	ヨロイヒメグモの網は放射状
86	15-20	2004	西野真由子	クモの幼体はなぜ「まどい」を作るのか
86	21-26	2004	新海明	積雪上で採集されたクモ
86	27-28	2004	新海明	カトウツケオグモはハエを誘引する?!
86	29-32	2004	斎藤慎一郎	石川県かほく市の暖地性クモ類
86	33-38	2004	八幡明彦	物語に登場するクモ・キャラクターの発展についての一考察-「蜘蛛の惑星」再論-
86	39-48	2004	谷川明男	2004 年 6 月の沖縄クモ観察記
86	49-53	2004	笹岡文雄	二人のデーニツツ小さな誤解について
86	54-56	2004	中島晴子	オペレッタ『夜叉蜘蛛』のこと
86	57	2004	新海明	八王子城址でスズミグモ幼体の越冬を確認
86	57-58	2004	新海明・谷川明男	山梨県一宮浅間神社のクモ
86	59-67	2004	貞元己良	高知県合宿のその後
86	68-74	2004	八幡明彦・新海明・甲野涼	東京蜘蛛談話会 2003 年度合宿報告北海道上士幌町糠平周辺のクモ
86	75-81	2004	今井正巳・谷川明男	東京蜘蛛談話会 2003 年度観察採集会報告さいたま緑の博物館
86	82-89	2004	新海明・谷川明男	文献による富山県産クモ類目録
86	90-99	2004	新海明・谷川明男	文献による福井県産クモ類目録
87	1-10	2005	西野真由子	マネキグモの日周活動
87	11-14	2005	池田博明	クモの会会報から再録 1 ハエトリグモの生態観察の記録
87	15-16	2005	水山栄子・成田和子・日置乃武子	生田緑地のカネコトタテグモとキシノウエトタテグモ
87	17-22	2005	新海明	ジョロウグモの網の張り替え周期
87	23-27	2005	甲野涼・初芝伸吾	都市公園における野鳥巣箱～クモの住み心地を考える～
87	28-32	2005	平松毅久	赤いハグモの体温調節姿勢
87	33-35	2005	谷川明男	アシプトヒメグモは年 2 化である
87	36-38	2005	谷川明男	毎日ジョロウグモを数えた
87	39-48	2005	笹岡文雄	東北地方におけるキシノウエトタテグモの分布
87	49-63	2005	徳本洋	石川県で見たイソコモリグモ <i>Lycosaishikariana</i> (SSaito1934)生き残りの条件
87	64-72	2005	貞元己良	秘湯の旅 (山梨県増穂町の合宿)

87	73	2005	平松毅久	アリを捕食していたトラフカニグモ
87	73-74	2005	平松毅久	埼玉県内に残存するコガネグモ方言の記録
87	74-75	2005	新海明	ミヤシタイソウロウグモが水平円網に侵入していた
87	75-76	2005	新海明	ヨリメグモの造網で「こしき部」の移動を見た
87	76-77	2005	新海明	ゴミグモの網に侵入し網主を食べていたアシナガグモ
87	77-78	2005	笹岡文雄	山梨県におけるキシノウエトタテについて
87	78-79	2005	笹岡文雄	アシナガグモの餌盗みについて
87	79-80	2005	笹岡文雄	新潟県におけるキシノウエトタテの採集記録について
87	80-81	2005	笹岡文雄	新潟大学構内にワスレナグモが多産
87	81-82	2005	高津佳史	今夏も！沖縄本島クモウォッチングー沖縄クモ図鑑を持ってー
87	82-83	2005	赤羽尚夫	箱根の仙石原でヒメハナグモの生息を確認
87	84-85	2005	新海明	岩船寺・浄瑠璃寺周辺のクモ
87	85-86	2005	谷川明男	沖縄県座間味島のクモ
87	86	2005	伴満	“県別クモ類分布図 ver2004”の記載県以外で採集した蜘蛛のリスト
87	87	2005	新海明	奈良県室生寺周辺のクモ
87	87-89	2005	馬場友希	徳之島で採集したクモ
87	89-90	2005	馬場友希	与那国島で採集したクモ
87	91-98	2005	加藤輝代子・青山裕司・石田博則・笠原浩人・岡田匡平・柏瀬真希・片瀬英高・駒野英昭・鈴木健介・高津素夢・高橋功・田中大輔・渡辺紀子	山梨県南巨摩郡増穂町付近のクモ類相について第1報
87	99-104	2005	谷川明男	2004年6月の沖縄のクモ採集記録
87	105-112	2005	新海明・谷川明男	東京蜘蛛談話会 2004年度合宿報告山梨県南巨摩郡檜形山周辺のクモ
87	113-126	2005	新海明・谷川明男	文献による栃木県産クモ類目録
87	127-187	2005	谷川明男	日本産クモ類目録(2005年版)
88	1	2005		追悼 千国安之輔先生
88	2-3	2005	新海栄一	弔辞
88	4	2005	小澤實樹	「毎日が青春だった、千国安之輔先生」を偲んで
88	4-5	2005	藤澤庸助	千国先生ありがとうございました
88	5-6	2005	佐藤幸子	千国先生とナニワナンキングモ
88	6-8	2005	小野展嗣	いつかどこかで(6)千国安之輔先生と大図鑑
88	9-10	2005	新海明	「ジョロウグモ」と「タコ部屋」
88	10-12	2005	池田博明	千国安之輔先生とユキノシタ

88	12-13	2005	加村隆英	22 通のお手紙
88	13-15	2005	萩野康則	お会いしたことのない千国先生へ
88	15-18	2005	徳本洋	故千国安之輔先生と私
88	18-20	2005	貞元己良	千国先生を偲んで追悼採集会
88	21-22	2005	谷川明男	千国先生
88	23-28	2005	新海明	ジョロウグモの個体数の年変化(1994年～2004年の記録)および、その他のクモ類での個体数密度の変化傾向
88	29-34	2005	西野真由子	マネキグモの産卵・出のう
88	35-46	2005	石本 舞・金田愛美・池田博明	ヒメグモの生活史を探る(1)母や親食いは無かった
88	47-49	2005	藤澤庸助	カネコタテグモの新産地
88	50-51	2005	新海明	冬でも活動するクモ
88	51-52	2005	新海明	シノビグモの分布に思う、クモの探し方
88	52-54	2005	新海明	飼育下でオオジョロウグモの超能力を見た!縦糸に粘球をつけた網
88	54-55	2005	平松毅久	オノゴミグモの記録
88	55	2005	高田まゆら	チビサラグモの雄間闘争
88	56-64	2005	馬場友希	奄美大島・沖縄本島・久米島・渡嘉敷島で採集したクモ
88	65-72	2005	谷川明男	奄美大島・西表島・与那国島・沖縄島・南大東島・北大東島で採集したクモ
88	73-81	2005	仲條竜太・植松いのり・阿部晴恵・石井智子・一條さくら・尾張智美・五味真人・坂野香織・櫻井あや・猿木祥子・渋谷亮・篠崎智也・塚本麻衣・成田遥香・沼井英里・長谷川雅美・水澤玲子・山中康弘	伊豆諸島新島のクモ類相
88	82-89	2005	新海明・谷川明男	東京蜘蛛談話会 2005 年度合宿報告 佐賀県湯の原・金刀比羅神社周辺のクモ
88	90-105	2005	新海明・谷川明男	文献による奈良県産クモ類目録
88	106-122	2005	新海明・谷川明男	文献による山梨県産クモ類目録
89	1-5	2006		追悼 萱嶋泉先生
89	6-7	2006	新海栄一	前夜式における先生に捧げる言葉
89	8-9	2006	小澤實樹	<ウッ・ワッハッハな童話作家>
89	10-11	2006	新海 明	掌のなかで・・・
89	12	2006	松本誠治	感謝
89	13	2006	小野展嗣	一飯の恩義
89	14	2006	中島晴子	萱嶋先生と「ヤモリの歌」
89	15	2006	長島忠義	萱嶋先生とペナン
89	16-18	2006	池田博明	萱嶋先生のお話
89	18-19	2006	貞元己良	わが師、萱嶋泉先生を偲んで
89	20-22	2006	萩野康則	三合同例会と萱嶋先生

89	22-23	2006	平松毅久	「仏の顔」の萱嶋先生
89	23-24	2006	笹岡文雄	私は萱嶋チルドレン
89	24-26	2006	八幡明彦	萱嶋先生の導き
89	26	2006	甲野涼	萱嶋泉先生 ありがとうございます
89	26-27	2006	谷川明男	トゲグモからツキジグモまで
89	28-38	2006	八幡明彦	横尾文子さん:「古代土蜘蛛の正体」2002年日本蜘蛛学会大会(鹿児島県加治木町)クモ・フェスタ 主題講演録 2002.8.24付・2005年東京蜘蛛談話会佐賀合宿資料
89	39-42	2006	笹岡文雄	北関東3県(群馬・栃木・茨城)におけるキシノウエトタテグモについて
89	43-48	2006	徳本洋	石川県でのマルゴミグモの分布ならびに好適環境特性
89	49-51	2006	新海明	シンカイ風「一例観察」の和え方
89	52-56	2006	新海明	ワスレナグモへの悔悟
89	57-62	2006	西野真由子	マネキグモの生態観察・補遺
89	63	2006	笹岡文雄	但馬地方のワスレナグモについて
89	63-64	2006	新海明	オオジョロウグモはセミが「お好き」
89	64-65	2006	小笠原幸恵	名古屋市でヨシダサヤヒメグモを採集
89	65-66	2006	仲條竜太	伊豆諸島鵜渡根島のクモ
89	66-67	2006	平松毅久	京都府船井郡八木町のクモ
89	67-68	2006	平松毅久・谷川明男・馬場友希	熊谷市荒川河川敷のクモ
89	68	2006	池田勇介	佐賀合宿追加記録
89	69-72	2006	馬場友希	トカラ列島の中之島・宝島で採集したクモ
89	73-77	2006	平松毅久	徳島県南部で採集したクモ
89	78-80	2006	平松毅久・初芝伸吾・甲野涼	奥秩父のクモ
89	81-102	2006	仲條竜太	文献による徳島県産クモ類目録
89	103-109	2006	仲條竜太・長谷川雅美・一條さくら・植松いのり・五味真人・土屋裕子・西口永修・深澤悟・三輪雄佑・松尾梨加・三村慶太・水澤玲子・黒住耐二	徳島県伊島のクモ類 I
89	110-136	2006	増原啓一	山口県産クモ類目録
89	137-156	2006	入江照雄	熊本県産クモ類目録
89	157-164	2006	初芝伸吾・甲野涼	東京蜘蛛談話会 2004 年度観察採集会報告 御岳溪谷のクモ類
89	165-167	2006	谷川明男	徳之島のクモ類採集記録
90	1-7	2006	西野真由子	ジョロウグモの産卵行動に及ぼす気温の影響
90	8-10	2006	新海明	イセキグモ類との遭遇
90	11-16	2006	藤澤庸助	野鳥が雛に給餌したクモ類
90	17-21	2006	新海明	ワスレナグモに関する覚え書き

90	22	2006	松本誠治	スズミグモ
90	22	2006	伊藤透・初芝伸吾	カトウツケオグモ山梨県にて確認
90	23	2006	初芝伸吾	クサグモの出囊後の卵囊に潜んでいたクモ類と昆虫類
90	24	2006	初芝伸吾	コアシダカグモの捕食例
90	24	2006	初芝伸吾	コオニグモモドキの捕食例
90	25-26	2006	初芝伸吾	コオニグモモドキは落葉広葉樹林に、ヨツボシサラグモ類はスギ植林に多い？
90	26-27	2006	新海明	トゲゴミグモの占座姿勢と餌捕獲
90	27	2006	工藤泰恵	シロカネグモの一種の脱皮例
90	27	2006	初芝伸吾	神奈川県川崎市黒川でのアシナガカニグモの記録
90	27-28	2006	谷川明男	屋久島にオオジョロウグモ定着か
90	28	2006	初芝伸吾	イソコモリグモの捕食例
90	29-33	2006	馬場友希	八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）で採集したクモ
90	33-36	2006	馬場友希	佐賀県で採集したクモ
90	36-37	2006	馬場友希	対馬で採集したクモ
90	37-40	2006	馬場友希	福岡県で採集したクモ
90	40-41	2006	谷川明男	渡名喜島のクモ類採集記録
90	41-43	2006	谷川明男	トカラ列島中之島のクモ類
90	44-51	2006	池田博明	2005年度 東京蜘蛛談話会 観察採集会 伊勢原市・吾妻山のクモ
90	52-61	2006	新海明・谷川明男	東京蜘蛛談話会 2006年度合宿報告 島根県大田市温泉津（ゆのつ）温泉周辺のクモ
91	1-2	2007	奥村賢一	雲仙山系におけるイシサワオニグモの垂直分布
91	3-6	2007	新海明	コガネヒメグモの飼育観察（新海栄一氏による報告の抄録）
91	7-12	2007	西野真由子	造網場所から探るジョロウグモの産卵部位選択
91	13-14	2007	新海明	ジョロウグモ大爆発！
91	15-20	2007	加藤むつみ	トゲグモの飼育記録から分かる事：成長と寿命
91	21-33	2007	新海明	イソウロウグモ類のホストの一覧
91	34-38	2007	笹岡文雄	東京 23 区におけるキシノウエトタテグモの生息地点
91	39	2007	高津佳史	ムツトゲイセキグモを静岡県三島市で観察
91	39	2007	高津佳史	4年目のジグモ
91	40	2007	奥村賢一	ミヤグモの単眼欠失個体
91	41	2007	笹岡文雄	他の個体の廃巣を利用したキシノウエトタテ
91	41-42	2007	馬場友希	季節はずれのチュガタシロカネグモの採集例
91	42	2007	平野健一	福島県でニシキオニグモの採集記録報告
91	42-43	2007	仲條竜太・植松いのり	伊豆諸島新島のクモ II

91	43	2007	仲條竜太	八丈小島のクモ
91	43-44	2007	馬場友希	徳之島で採集したクモ
91	44-45	2007	馬場友希	熊本県で採集したクモ
91	46-47	2007	馬場友希	奄美大島で採集したクモ
91	47-48	2007	馬場友希	四国（高知県・愛媛県）で採集したクモ
91	49-56	2007	馬場友希	福岡県能古島のクモ
91	57-69	2007	新海明・谷川明男	文献による佐賀県産クモ類目録
91	70-75	2007	藤澤庸助	長野県クモ類目録（第2報）
92	1-10	2007	貞元己良	島根県は我々を待っていた
92	11-12	2007	西教生	ヤマドリのそ囊から発見されたワカバグモについて
92	13-16	2007	平松毅久・初芝伸吾	「Wanted !! このクモを探せ」
92	17-21	2007	新海明	クモの網から餌を盗む「生きもの」たち
92	22-26	2007	西野真由子	野外における産卵後のジョロウグモ
92	27-32	2007	新海明	絡新婦はジョロウグモなのかー 江戸時代のクモ、その新たな見方ー
92	33-38	2007	新海明	イソコモリグモ探蛛行（新潟編）
92	39-52	2007	新海明	ワスレナグモの全国分布調査結果
92	53-54	2007	新海明	ワクトツキジグモの採集記録の一覧
92	55-63	2007	吉田哉	山形県庄内砂丘のイソコモリグモ
92	64	2007	平松毅久	埼玉県における珍しいクモの記録
92	64	2007	平松毅久	埼玉県秩父市のワスレナグモの記録
92	64-65	2007	笹岡文雄	東京・湾岸で採集されたタイリクユウレイグモ
92	65	2007	仲條竜太	竹富島で採集したクモ
92	66-70	2007	笹岡文雄	伊豆大島のトタテグモおよびその他のクモ
92	71-74	2007	仲條竜太・原口岳・中西亜耶・久保真司	冬の伊豆大島から採集されたクモ
92	75-89	2007	初芝伸吾	国立市のクモ類（第1報）
92	90-98	2007	松田まゆみ・須藤昌子	北海道、留萌市のクモ
92	99-106	2007	木村知之	東京蜘蛛談話会 2006 年度観察採集会報告 片倉城跡公園のクモ
92	107-126	2007	新海明・谷川明男	文献による静岡県産クモ類目録
93	1-5	2008	斎藤慎一郎	民俗学的に見た「ナガコガネグモ相撲」考
93	6-12	2008	新海明	イソコモリグモ探蛛行（青森編）
93	13-22	2008	桑田隆生・境 武志	日本大学理工学部船橋キャンパスおよび周辺地域における準絶滅危惧種ワスレナグモ <i>Calommata signata</i> の分布
93	23-26	2008	西野真由子	コガネグモの味覚と記憶ーフレッシュの実験に感化されてー
93	27-36	2008	石本舞・金田愛美・池田博明	ヒメグモの生活史を探る(2) 母親の世話の意義
93	37-48	2008	斎藤慎一郎	マミクロハエトリとはどんなクモか
93	49-51	2008	仲條竜太	このクモを探せ No.3, キクメハシリグモ
93	52-53	2008	初芝伸吾	このクモを探せ No.4, コケオニグモ

93	54-55	2008	萩野康則	千葉県の住宅地で採集されたムツトゲイセキグモとツシマトリノフンダマシの記録
93	55	2008	高津佳史	沖縄, 泡瀬干潟のヤマトウシオグモ
93	56	2008	荘司康治郎	東京都のマルゴミグモ
93	56-57	2008	荘司康治郎	ヤマゴミグモの威嚇行動
93	57	2008	笹岡文雄	栃木県で記録されたキノボリトタテグモ
93	58	2008	仲條竜太・五味真人	スジブトハシリグモがオタマジャクシを捕らえたが. . .
93	58-59	2008	仲條竜太	八丈島のクモ
93	59	2008	仲條竜太	八丈小島のクモ II
93	60-61	2008	仲條竜太	神津島のクモ
93	61-62	2008	仲條竜太	徳島県海部郡牟岐町出羽島のクモ
93	62-63	2008	仲條竜太	式根島で採集したクモ
93	63	2008	仲條竜太	小笠原諸島母島のクモ
93	63-64	2008	植松いのり	粟国島のクモ
93	64-65	2008	笹岡文雄	伊豆大島のクモ類 追加
93	65-67	2008	谷川明男・馬場友希	南西諸島のクモ類追加記録
93	68-71	2008	中西亜耶・仲條竜太	徳島県伊島のクモ II
93	72-76	2008	仲條竜太・中西亜耶	伊豆諸島利島のクモ I
93	77-84	2008	笹岡文雄	伊豆諸島・利島のクモ類
94	1-10	2008	八幡秋山沙和	ズグロオニグモの研究
94	11-14	2008	新井浩司	「あいのこ」トリノフンダマシに関する情報
94	15-22	2008	徳本洋・新海栄一・貞元己良	富山県におけるイソコモリグモの絶滅
94	23-30	2008	新海明	陸中海岸でイソコモリグモの大産地を発見
94	31-34	2008	新海明・谷川明男	九州地方のキムラグモ類とトタテグモ類の採集記録 (両者の混棲, トタテグモ類の二枚扉の住居例)
94	35-41	2008	西野真由子	野外におけるコガネグモ幼体の占座の限界気温と日周行動
94	42	2008	新海明	「あいのこ」トリノフンダマシ採集の記録
94	43	2008	笹岡文雄	キノボリトタテグモの産卵数に関する一事例
94	43-44	2008	新海明・谷川明男	ハタチコモリグモは地中に管状住居を作る?
94	45	2008	仲條竜太	青ヶ島のクモ
94	46-50	2008	笹岡文雄	文献調査による伊豆・小笠原諸島のトタテグモ類
94	51-58	2008	貞元己良	庄内平野で採集したクモ
94	59-81	2008	野嶋宏一	岡山県産クモ類目録
94	82-98	2008	緒方清人	愛知県産クモ類目録
95	1-12	2009	貞元己良	ハラビロササヒメグモとフタホシヒメグモ (香川県の合宿に参加して)

95	13-16	2009	小松貴	アリの巣に住むクモ，ウスイロウラシマ グモについて
95	17-22	2009	小関峻徳・加倉井駿 也・児島寛之・池田博 明	チュウガタシロカネグモの生活史
95	23-26	2009	西野真由子	ジョロウグモの越冬卵死亡の危険因子の 分析
95	27-31	2009	相馬なおみ・仲條竜 太・長谷川雅美	千葉県白井市におけるコガネグモの生息 環境
95	32-33	2009	荘司康治郎	シロオビトリノフンダマシの卵のう
95	33-36	2009	笹岡文雄	伊豆諸島・八丈島のクモの小記録
95	36	2009	仲條竜太	八丈小島のクモ III
95	37-38	2009	笹岡文雄	文献調査による伊豆・小笠原諸島のトタ テグモ類 追補
95	39-48	2009	新海明・谷川明男	東京蜘蛛談話会 2008 年度合宿報告香川 県高松市塩江温泉と五色台周辺のクモ
95	49-52	2009	仲條竜太・柗雅実・中 西亜耶	伊豆諸島三宅島で採集したクモ
95	53-56	2009	仲條竜太・中西亜耶・ 柗雅実	伊豆諸島御蔵島で採集したクモ
95	57-80	2009	馬場友希・新海明・谷 川明男	文献による福岡県産クモ類目録
95	81-86	2009	笹岡文雄	伊豆諸島・青ヶ島のクモ類
95	87-96	2009	水山栄子・山根尚子・ 深澤由憲子・久地岡美 保・薄井由美子	土浦市穴塚のクモ
96	1	2009	小澤寛樹	「KISHIDAIA・40 周年記念号」の表紙に 寄せて
96	2-4	2009	井上尚武	40 周年おめでとう
96	4-5	2009	加藤康子	クモとの出会い
96	5-7	2009	新海 明	「夢」のつづき
96	7-9	2009	谷川明男	目の前の視界が開けるとそこは崖だっ たりして
96	9-12	2009	荘司康治郎	祝「KISHIDAIA」発刊 40 周年
96	12-13	2009	池田博明	クモの名前について
96	14-15	2009	笹岡文雄	これからの 40 年に向けて
96	15-16	2009	中島晴子	「40 周年記念号」に寄せて
96	16-18	2009	萩野康則	KISHIDAIA と TAKUWAIA
96	19-31	2009	張替智行	ムツトゲイセキグモの飼育報告
96	32-36	2009	西野真由子	有効積算温度を用いたジョロウグモの出 のう時期の予測
96	37-42	2009	徳本洋・八幡明彦	真夏の昼のイソコモリグモ観察
96	43-47	2009	山本一幸	オオトリノフンダマシの卵のう作成
96	48-57	2009	山本一幸・安岡政則	ムツトゲイセキグモの産卵と卵のう作成 について
96	58-62	2009	新海明	「椎葉村」と「西米良村」こそ秘境だ (キ ムラグモ探訪記)

96	63-67	2009	井上尚武	茨城県のイソコモリグモ (1) 発見のいきさつ
96	68-74	2009	藤澤庸助	アオオビハエトリのアリを狩る行動等の観察例
96	75-80	2009	藤澤庸助	ジョロウグモ生息の標高上限調査報告 (2008年)
96	81-88	2009	佐藤幸子	オオトリノフンダマシの造網 観察日記
96	89-98	2009	平松毅久	ゴミグモの「ゴミリボン」から吸汁していたヤマトシリアゲ
96	90	2009	平松毅久	ムナボシヒメグモがクスミサラグモを捕食
96	90-92	2009	藤澤庸介	長野県産ハリゲコモリグモ複合群の見直し結果と県産初記録種の報告
96	92-93	2009	荘司康治郎	東京都において記録の少ないクモの採集情報
96	94	2009	仲條竜太・中西亜耶	徳島県海部郡牟岐町出羽島のクモ II
96	95	2009	高橋登	三宅島のクモ
96	96	2009	高橋登	クモの卵のうを食べる昆虫
96	97-107	2009	初芝伸吾・甲野 涼	東京蜘蛛談話会 2007年度合宿報告 東京都奥多摩町のクモ類
96	108-110	2009	中西亜耶・仲條竜太	徳島県伊島のクモ II
97	1-7	2010	池田博明	ヒメグモのオス間闘争
97	8-12	2010	西野真由子	ジョロウグモの複数回産卵と繁殖及び卵のうに影響を及ぼす要因
97	13-14	2010	池田博明	繁殖期のヒメグモの生息する高さ
97	15-16	2010	池田博明	ヒメグモの和名について
97	17-19	2010	藤澤庸助	ミヤマナンキングモ多産地点との出会い
97	20-23	2010	新海明	「京都から越後へ」とイソコモリを求めて
97	24	2010	中島晴子	アズチグモから線虫が出た
97	24-25	2010	平松毅久	ジョロウグモの網に入っていたクロマルイソウロウグモ
97	25-26	2010	平松毅久	子グモがふ化するまで卵のうを守る？マルコブオニグモ
97	26-27	2010	谷川明男・新海 明	イソコモリグモは、福島県にはどこにもいないが、茨城県高萩市にはたくさんいる
97	27-28	2010	谷川明男	ムツトゲ日誌のムツトゲ成長記録
97	28	2010	池田博明	ジョロウグモがジョロウグモを捕食
97	29	2010	山本一幸	シロオビトリノフンダマシの卵のう作成
97	30	2010	山本一幸	産卵直後に交接をしたエゾアシナガグモ
97	31	2010	高津佳史	ゴミグモの巣上で吸汁したヤマトシリアゲの観察例
97	31-32	2010	高津佳史	ヤマトウシオグモは昼間何をしているのか？
97	32-33	2010	新海明	安芸の宮島で見たキシノウエのようなキノボリの住居
97	33-34	2010	藤澤庸助	ジョロウグモの耐寒力に関して"たったの

				2例からですが"
97	35	2010	馬場友希	5月におけるコゲチャオニグモ成体の採集例
97	35	2010	笹岡文雄	東京・世田谷区で採れたマルゴミグモ
97	36	2010	武田勇人・谷川明男	ウシガエルに食われたクモ
97	36-37	2010	藤澤庸助	ギンメッキゴミグモも北上顕著か?
97	37-38	2010	笹岡文雄	宮城県仙台市におけるキシノウエトタテグモの分布状況
97	38-39	2010	平野健一	福島県でのアカオニグモの採集記録
97	39-40	2010	馬場友希・栗原隆	福島県檜枝岐村で採集されたクモ
97	40	2010	馬場友希・栗原隆	山梨県鳴沢村で採集されたクモ
97	40-43	2010	馬場友希	沖縄本島で採集されたクモ
97	43-45	2010	馬場友希・吉武啓	茨城県南部で採集されたクモ
97	45-46	2010	馬場友希・吉武啓	岩手県岩泉町で採集されたクモ
97	47-54	2010	笹岡文雄	伊豆諸島・新島のクモ類
97	55-58	2010	笹岡文雄	伊豆諸島・八丈島におけるトタテグモ類とその他のクモ
97	59-67	2010	馬場友希	千葉県松戸市「21世紀の森と広場」のクモ
97	68-76	2010	三谷進・谷川明男	香川県各地のクモ類の採集記録
97	77-83	2010	荘司康治郎	東京都立石神井公園のクモ
97	84-104	2010	馬場友希・吉武啓・平館俊太郎・楠本良延・栗原隆・吉松慎一	茨城県南部の農地で採集されたクモ標本目録
98	1-3	2010	新海明・杉本雅志・谷川明男	ワクドツキジグモの網，日本でついに発見
98	4-15	2010	貞元己良	女神の微笑み
98	16-20	2010	西野真由子	産卵が早いと出のうも早い：葉に産卵されたジョロウグモの卵のう
98	21-32	2010	池田博明	ハエトリグモの学名の解説(2) アリグモ物語
98	33-37	2010	新海明	津軽半島斜陽館から新潟へ イソコモリを求めて
98	38-40	2010	荘司康治郎	シロオビトリノフンダマシの卵のう寄生蜂
98	41-42	2010	藤澤庸助	ヒメハナグモと出会いの記
98	43	2010	貞元己良	都内でクロガケジグモを採集した
98	43-44	2010	笹岡文雄	住宅地，屋内で採集されたヤマトヤギヌマグモ
98	44	2010	笹岡文雄	ジョロウグモの共食い
98	44-45	2010	新海明	スズミグモの網をあきる野市で発見
98	45	2010	新海明	アズチグモがクモを捕食
98	45-46	2010	馬場友希・吉武啓	沖縄島で採集されたクモ
98	47-48	2010	馬場友希・吉武啓	茨城県南部で採集されたクモ II
98	49-54	2010	藤澤庸助	須坂市の高地におけるクモ類の採集記録
98	54-58	2010	馬場友希	千葉県で採集されたクモ
98	59-129	2010	谷川明男	日本産クモ類目録 ver. 2010R2

99	1-5	2011	西野真由子	イエユウレイグモの産卵期
99	6-8	2011	藤野知弘・池田 博明	座間市のクモ調査ノート (2) 神奈川県立座間谷戸山公園のカネコタテグモ
99	9-10	2011	山本一幸	アカイロトリノフンダマシの交接
99	11-19	2011	中島はる	蜘蛛と音楽 第一章・第二章 (全四章)
99	20-22	2011	新海明	天草の「謎」ーキムラグモの空白地
99	23-26	2011	新海明	キムラグモを求めて ～佐多岬は遠かった
99	27	2011	水山栄子	ワクドツキジグモを横浜市内で発見
99	27-28	2011	萩野康則	千葉県野田市の温室内で採集されたクロガケジグモ
99	28	2011	中島晴子	東京都目黒区のマルゴミグモ
99	29	2011	笹岡文雄	シロカネイソウロウグモが網に侵入したクモ類について
99	29	2011	馬場友希・栗原隆	北海道北見市常呂町で採集されたクモ
99	30-31	2011	馬場友希・松村雄	マレーズトラップによる石垣島のクモ
99	32-37	2011	笹岡文雄	伊豆諸島・神津島のクモ類
99	38-44	2011	笹岡文雄	伊豆諸島・三宅島における地中性クモ類及びその他のクモ
99	45-53	2011	荘司康治郎	多摩川は政橋近辺のクモ
99	54-68	2011	池田博明	東京蜘蛛談話会 2010 年度飯豊山麓合宿報告山形県小国町のクモ
100	1-3	2012	新海栄一	KISHIDAIA 100 号に感謝を込めて
100	4-5	2012	小澤實樹	蜘蛛曼荼羅を思う
100	6-7	2012	南部敏明	蜘蛛と私
100	7-9	2012	藤澤庸助	私の入会 14 年間の足跡 100 号発行記念にそえて
100	10-11	2012	萩野康則	高嶺の花の KISHIDAIA
100	11-12	2012	笹岡文雄	そして 100 号, されど 100 号
100	12-13	2012	谷川明男	100 号記念, 雑感
100	13-14	2012	石川奈美江	キシダイア 100 号発刊によせて
100	15-33	2012	中島はる	蜘蛛と音楽 第三章・第四章 (全四章)
100	34-36	2012	谷川明男	大津波とイソコモリグモ
100	37-45	2012	佐藤由美子・西村知良・安倍弘	餌種と餌サイズに関するアオオビハエトリの捕食選好性
100	46-48	2012	西野真由子	スズミグモの越冬
100	49-54	2012	貞元己良	師弟の絆, いま再び. ～もてぎ編
100	55-59	2012	張替智行	ワクドツキジグモの飼育報告
100	60-65	2012	張替智行	飼育下におけるワクドツキジグモの網の記録
100	66-68	2012	本多佳子	顕微鏡下で観察したクサグモ幼体の初回脱皮
100	69-72	2012	はまぐちゆうだい	水元公園のたのしいクモたち
100	73-80	2012	吉田嗣郎	ムツトゲイセキグモ 主に多産地での観察・生態・蛾の同定・フェロモン
100	81-83	2012	池田博明	ボルネオにカラオビハエトリを求めて
100	84-87	2012	入江照雄	熊本県から得られたクロナンキングモの

雌雄モザイクについて				
100	88-98	2012	谷川明男・新海明	日本でのイソコモリグモの分布
100	99	2012	藤澤庸助	ミヤマシボグモモドキの雄の奇妙なしぐさ
100	100	2012	中澤均	八王子市内でワクドツキジグモを発見
100	101	2012	山本一幸	オオヒメグモの網に居たアカイソウロウグモ
100	101-102	2012	池田博明	こどもクモ博士という試み
100	102-104	2012	池田博明	母グモはもっとも新しい卵のうのそばにいる
100	104-105	2012	浅間茂	コケオニグモと紫外線
100	105-107	2012	入江照雄	熊本県産クモ類目録の追加
100	108-112	2012	笹岡文雄	伊豆諸島・式根島における地中性クモ類及びその他のクモ
100	113-116	2012	須黒達巳	長崎県壱岐島のクモ
100	117-154	2012		Kishidaia 1号～100号総目次